

令和7年3月

湯梨浜町議会定例会

令和7年度

一般会計

当初予算参考資料
(歳出予算 事業概要書)

東伯郡湯梨浜町

【産業振興課】

令和7年度 一般会計

歳出予算事業概要書 目次

歳出予算

款	項	ページ
5. 農林水産業費		
	1. 農業費	1
	2. 林業費	30
	3. 水産業費	34
6. 商工費		
	1. 商工費	37

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0044 中核的担い手農家育成補助金 (簡略番号：009111)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	事業の種類	未設定		
経費区分	経常的経費	補助単独区分	目的区分	農一業一農業農村整備	

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,723	1,730	△7	2,595	2,468
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金		410	△410	410
	地方債				
	その他				
一般財源	1,723	1,320	403	2,185	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 湯梨浜町内において、地域農業の担い手となる認定農業者等が、利用権設定により農地を3年以上借り受けた場合、集積奨励金として1年当たり2,000円/10a (町外担い手は1,000円/10a)、遊休農地加算として1回に限り25,000円/10aを交付する。また、令和6年度からは果樹園加算として、東郷果実部が選定する「やらいや果樹園」に利用権設定した場合、年間3,000円/10aを加算する。
【事業の必要性】
 農地の流動化を促進し、将来にわたって地域農業の担い手となる農家を育成し、遊休農地を解消するために必要である。
【事業の内容】
 R7. 1. 1～12. 31に3年以上の利用権設定をする担い手農家に奨励金を交付する。
 集積奨励金：1,650,780円 (217,160㎡)
 果樹園加算：72,060円 (3,170㎡) 合計：1,722,840円

2. 根拠法令
 湯梨浜町中核的担い手農家育成奨励金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
 SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 3年以上農地の貸借契約をした認定農業者等を支援する。
【事業の効果】
 担い手への農地集積を加速することで、町内の遊休農地発生防止及び解消が図られる。
【前年度評価】
 事業実施により、担い手への農地集積が進み、農地の有効利用が図られている。

6. 財源の説明
【一般財源】1,723千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,723	1,723
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,723	1,723

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401257	市町村創生交付金 (中核的担い手)		410

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 004400000事業 中核的担い手農家育成補助金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費	(簡略番号：009166)
事業	大	0050 二十世紀梨を大切に作る町づくり				
	中					
	小					
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費		事業の種類 未設定			
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備		

所属		0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	1,068	1,076	△8	652	332
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源	1,068	1,076	△8	652	

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	<p>【事業の概要】 二十世紀梨を大切に作る町づくり委員会（生産者、消費者）を核とした梨を活用した地域振興の取り組みや情報発信等の取り組みを支援する。「梨の日」や初出荷式行事、百年樹の保護活動や梨並木の管理、優良園継承奨励金など。また、鳥取大学生を招いて農業体験を実施し、新規就農のきっかけはもとより、今後の関係人口増加へ向けた取り組みを行う。</p> <p>【事業の必要性】 「湯梨浜町二十世紀梨を大切に作る条例」に基づく事業で、梨生産農家数の減少により生産量が減少する中、町経済に影響する梨の生産振興と加工品等を含めた販売強化を図る。</p>
2. 根拠法令	湯梨浜町二十世紀梨を大切に作る条例
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	<p>【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業） 【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち（農林水産業の振興） 【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」</p>
5. 本年度の計画効果	<p>【本年度の計画】 令和5年度で終了した「梨産地再生プラン」のうち、必要な事業を引き続いて進める。また二十世紀梨の消費拡大のため、県外に二十世紀梨を積極的にPRするとともに、地元大学生を農業体験に招き、関係人口の増加を図る。</p> <p>【前年度評価】 町づくり委員会、梨の日、初出荷式とPRに努め、併せて大学生の農作業体験を実施し、関係人口の増加を図った。</p>
6. 財源の説明	<p>【一般財源】 1,068千円</p>

【事業費内訳】					
	節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬				16 公有財産購入費	
02 給料				17 備品購入費	
03 職員手当等				18 負担金、補助及び交付金	400 400
04 共済費				19 扶助費	
05 災害補償費				20 貸付金	
06 恩給及び退職年金				21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費	76	76		22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費	171	171		23 投資及び出資金	
09 交際費				24 積立金	
10 需用費	100	100		25 寄附金	
11 役務費	16	16		26 公課費	
12 委託料	295	295		27 繰出金	
13 使用料及び賃借料	10	10		予備費	
14 工事請負費					
15 原材料費				合 計	1,068 1,068

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】				
実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 005000000事業 二十世紀梨を大切に作る町づくり

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

要求時

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費
事業	大	0087	親元就農促進支援交付金事業	(簡略番号：033902)	
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定	
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備	

目		03 農業振興費		所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)	
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	2,400	2,700	△300	2,200	3,300	
	国庫支出金						
	県支出金	1,600	1,800	△200	1,333		
	地方債						
	その他						
	一般財源	800	900	△100	867		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 認定農業者等の農業経営体が、将来経営を継承する予定の後継者(親元就農者)に、栽培技術や経営のノウハウ等を習得させるための研修に対して交付金を交付する。
 助成額：10万円/月(最大2年間) ※補助率10/10(県2/3、町1/3)

【事業の必要性】
 地域の担い手として位置付けられる農業経営体の農業経営を継承し、親元就農者が地域農業の担い手として定着するために必要な支援である。

【事業費】
 対象となる研修生は2人で、交付額合計2,400千円。

2. 根拠法令
 鳥取県親元就農促進支援交付金交付要綱
 鳥取県親元就農促進支援交付金事業実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
 【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 事業継承のため、後継者の就農研修を行う認定農業者2人を支援。
 【事業の効果】
 将来の担い手として定着が見込まれ、農業経営の継続的な発展が図られる。
 【前年度評価】
 認定農業者3人に対し助成。これまで事業を活用された経営体についても、経営継承に向けて営農活動が続けられている。

6. 財源の説明
 【県支出金】1,600千円
 【一般財源】800千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,400	2,400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,400	2,400

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401251	親元就農促進支援交付金	1,600	1,800

【補助金】

補助金等の名称	親元就農促進支援交付金		
補助基本額	2,400	補助率	66.6%
		補助金額	1,600

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 008700000事業 親元就農促進支援交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計

現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0131 特産果物生産振興事業 (簡略番号：040722)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	4,000	4,000		4,996	3,398
	県支出金			898	898	
	地方債					
	その他					
	一般財源	4,000	3,102	898	4,098	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町特産品である二十世紀梨に加え、ぶどう、いちごなど施設園芸品目の生産拡大を目指して生産者の負担軽減のための施設整備等を支援し、特産品としての生産力維持・振興を図る。
 対象品目：二十世紀梨、ぶどう、いちご、メロン、スイカ、ほうれん草、梅

【事業の必要性】
 町の特産品でありながら年々生産者数や生産面積が減少している施設園芸品目と梨の生産について、特産地として維持発展していくために生産者の負担軽減を図り、産地活力を高めて後継者育成の基盤を整える。

【事業の内容】
 補助金 4,000千円
 対象：梨、ぶどう、メロン、ほうれん草、いちごなどの生産部会および認定農業者等

2. 根拠法令
 町特産農産物生産振興事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 特産農産物の生産振興 (国や県の補助事業の対象にならない事業) を図る。
【事業の効果】
 特産農産物の生産者の労力軽減による生産設備を支援し、営農継続できる体制を築き、合わせて担い手の育成も図りながら産地の活力強化を図る。
【前年度評価】
 ハウス被覆更新等33件 補助額約4,996千円を支援した (新規就農者への支援あり)。

6. 財源の説明
【一般財源】 4,000千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	4,000
				4,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401231	市町村創生交付金 (特産果物生		898

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 013100000事業 特産果物生産振興事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事業	大	0135 就農条件整備事業 (簡略番号: 009297)						
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	5,287	3,723	1,564	1,926	1,224	
	国庫支出金						
	県支出金	3,524	2,481	1,043	1,283		
	地方債						
	その他						
一般財源	1,763	1,242	521	643			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定新規就農者が、就農から5年以内に行う機械や施設等の整備に対して助成する。
 ※補助金1/2(県1/3、町1/6) 補助上限1,200万円
【事業の必要性】
 就農初期における経営基盤整備の負担軽減を図り、効率的かつ安定的な農業経営の担い手となる青年等の就農促進と自立支援のために必要。
【事業費】
 動力噴霧器他810千円×1/2=405千円 葯採取機他1,067千円×1/2=533.5千円
 作業場5,000千円×1/2=2,500千円 炭酸ガス発生器他3,697千円×1/2=1,848.5千円
 合計5,287千円

2. 根拠法令
 鳥取県就農条件整備事業費補助金実施要領
 鳥取県就農条件整備事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 認定新規就農者4人に動力噴霧器などの導入を支援する。
【事業の効果】
 営農開始時の負担軽減により、担い手としての早期自立と安定した営農が見込まれる。
【前年度評価】
 認定新規農業者2人 (トラクター、定植用整形器など) を支援した。

6. 財源の説明
【県支出金】 3,524千円
【一般財源】 1,763千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	5,287	5,287
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	5,287	5,287
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401206	就農条件整備事業補助金	3,524	2,481

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県就農条件整備事業補助金				
補助基本額	10,574	補助率	33.3%	補助金額	3,524

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 013500000事業 就農条件整備事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0147 水田病害虫対策事業 (簡略番号：037757)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	2,525	2,480	45	2,480	2,404
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,131	1,031	100	1,035
	一般財源	1,394	1,449	△55	1,445

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 近年、町内の水田で被害が拡大しているジャンボタニシ及び縞葉枯病による水稲収穫量の減少を防ぐため、被害低減に有効な稲収穫後の耕耘に要する経費の一部を助成する。
【事業の必要性】
 被害要因であるジャンボタニシとヒメトビウンカ（縞葉枯病ウイルスの媒介虫）の越冬防止策として稲収穫後の耕耘が有効であり、地域全体で推進を図る必要がある。
【事業の内容】 秋冬耕耘推進事業補助金
 (直営) 対象農地26,722a×補助単価800円/10a=2,137,760円
 (委託) 対象農地1,545a×補助単価2,500円/10a=386,250円 合計：2,524,010円

2. 根拠法令
 湯梨浜町水田病害虫緊急対策（秋冬耕うん推進）事業補助金等交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【事業の計画】
 秋耕耘を実施する水稲生産者に経費の一部を支援する。
【事業の効果】
 病害虫被害対策を推進し営農意欲の低減を防ぐ。
【前年度評価】
 計画取りまとめ時点の実施予定率は78.0%であり、R5実施率74.4%を上回る見込み。

6. 財源の説明
【負担金】 374千円
【繰入金】 757千円（ふるさと湯梨浜応援基金）
【一般財源】 1,394千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,525	2,525
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,525	2,525

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
負担金	12020401002	水田病害虫緊急対策（秋耕耘推	374	340
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	757	691

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 01項 03目 014700000事業 水田病害虫対策事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0151 集落営農体制強化支援事業 (簡略番号: 009346)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	事業の種類	未設定		
経費区分	経常的経費	補助単独区分	目的区分 農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	13,000	8,880	4,120	2,400	4,394
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	8,665	5,918	2,747	1,600
	地方債				
	その他				
一般財源	4,335	2,962	1,373	800	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 小規模農家が共同で営農する集落営農に対して、機械施設の整備等の支援を行い、経営の多角化や次世代への円滑な運営継承を図る。
【事業の必要性】
 農業者の高齢化及び後継者不足が課題となる中、将来に向けて集落農地を維持できる体制づくりを進めるために必要である。
【事業費】 補助率 県1/3 町1/6
 ①長瀬中央東部営農組合 事業費12,972千円×1/2=6,486千円 (トラクター)
 ②KMU営農組合(漆原) 事業費 1,385千円×1/2= 692.5千円 (乗用田植機)
 ③上浅津営農組合 事業費11,642千円×1/2=5,821千円 (コンバイン)

2. 根拠法令
 県集落営農体制強化支援事業実施要領
 県集落営農体制強化支援事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地区内の水田の過半を集積する目標を定めた「集落営農ビジョン」に基づき、農地の集約化を図る集落営農組織を支援する。組織の経営規模、形態等を踏まえた適切な生産体系を確立するために必要な農業用機械の導入費を助成する。
【事業の効果】
 集落営農組織の作業効率向上による経営安定化と集落農地の維持が図られる。
【前年度評価】
 町内1営農組織の機械整備を支援し、組織の経営安定化と集落農地の維持を図った。

6. 財源の説明
【県支出金】 8,665千円
【一般財源】 4,335千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	13,000	13,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,000	13,000

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401204	集落営農体制強化支援事業費補	8,665	5,918

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県集落営農体制強化支援事業費補助金				
補助基本額	13,000	補助率	33.3%	補助金額	8,665

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 015100000事業 集落営農体制強化支援事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0165 就農準備資金・経営開始資金等事業 (簡略番号: 032636)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,500	3,947	△2,447	3,197	5,073
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	1,500	3,946	△2,446	3,196
	地方債				
	その他				
一般財源		1	△1	1	

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定新規就農者の就農当初の資金を確保するため、就農後5年以内の青年就農者に対し資金を交付する。
【事業の必要性】
 農業従事者の高齢化が急速に進展する中、持続可能な力強い農業を実現するには、青年等の新規就農者を育成する必要がある、国の助成制度を活用し、就農意欲の喚起と就農後の定着を図るために必要である。
【事業費】
 (継続) 経営開始資金事業(原則50歳未満、最長3年間、最高150万円/年、国10/10)
 (※原則、前年の世帯所得が600万円(経営開始資金含む)を超えた場合は対象外)
 予算 1,500千円 対象農業者1人
 2. 根拠法令
 新規就農者育成総合対策実施要綱、湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱
 鳥取県就農準備資金・経営開始資金等事業費補助金交付要綱
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 湯梨浜町内における就農5年以内の青年就農者1人に対し、上限150万円/年の経営開始資金を交付する。
【事業の効果】
 就農意欲の喚起と就農の定着を促すことで、青年就農者の着実な増加が期待される。
【前年度評価】
 認定新規就農者3人に交付し就農初期の営農体制を支援した。
 6. 財源の説明
【県支出金】 1,500千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,500
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	1,500
				1,500

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401064	就農準備資金・経営開始資金等	1,500	3,946

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県就農準備資金・経営開始資金等事業費補助金				
補助基本額	1,500	補助率	100.0%	補助金額	1,500

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 016500000事業 就農準備資金・経営開始資金等事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事業	大	0233	収入保険制度助成事業 (簡略番号：009525)					
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類					未設定
補助単独区分			目的区分	農一業一農業農村整備				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	346	343	3	343	310	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源	346	343	3	343		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
国が平成31年度に新たに創設した収入保険制度は、自然災害による収量減少や価格低下など、農業者の経営努力では避けられない農産物販売収入全体の減少を補償する制度である。保険料のうち事務費付加分を助成する。

【事業の必要性】
農業生産者の高齢化や減少が進む中、異常気象による自然災害や国際情勢による価格低下の懸念も生じており、本町の農業生産力を維持向上するため農業経営の安定化を支援する必要がある。

【事業の内容】
加入者の保険料（事務費部分）の定額助成
新規4,500円×加入者数10戸=45,000円
継続3,200円×94戸=300,800円

2. 根拠法令
農業経営収入保険制度事業実施要領（農林水産省）
湯梨浜町農業経営収入保険制度補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）
【SDGs】目標12 つくる責任つかう責任

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
制度加入は共済制度との選択制であり、加入移行も含めた支援により農家経営の安定化を図る。
【事業の効果】
農業経営の安定化を支援し、農業生産力の向上が図られる。
【前年度評価】
新規加入7戸、継続加入87戸を補助対象とした。

6. 財源の説明
【一般財源】346千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	346	346
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	346	346

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称			
補助基本額	補助率	補助金額	

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 023300000事業 収入保険制度助成事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0298 鳥取梨生産振興事業 (簡略番号：035368)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	25,617	6,763	18,854	7,438	8,811
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	22,911	6,593	16,318	6,911
	地方債				
	その他				
一般財源	2,706	170	2,536	527	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 梨生産地を維持発展させていくため、県奨励の品種（二十世紀、新甘泉、王秋）への新植・改植、それに伴う園地整備（果樹棚、かん水施設などの導入）、防除用機械の導入などを支援する。
【事業の必要性】
 梨の木の老木化が進む中、市場から高評価を受けている新品種の出荷量の拡大と、東郷梨のブランド化の維持・向上のため、県制度を活用し継続して支援していく。
【補助金】
 新甘泉特別対策事業22,751千円、低コスト・体制強化事業160千円など25,617千円

2. 根拠法令
 鳥取梨生産振興事業及び柿ぶどう等生産振興事業実施要領
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち（農林水産業の振興）
【SDGs】目標15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 高収益品種の新甘泉の導入に伴う果樹棚設置や改植、乗用草刈機の導入等への支援を行う。
【事業の効果】
 鳥取県奨励の新品種「新甘泉」「王秋」への転換を促進し、省力化や高収益化を図り、本町特産である梨の生産農家の営農意欲の向上を図る。
【前年度評価】
 新甘泉、王秋への改植を実施し、梨新品種の増産・転換を進めることができた。

6. 財源の説明
【県支出金】22,911千円
【一般財源】2,706千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	25,617
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	25,617
				25,617

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401012	鳥取梨生産振興事業補助金	22,911	6,593

【補助金】

補助金等の名称	鳥取梨生産振興事業費補助金			
補助基本額		補助率	補助金額	22,911

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 029800000事業 鳥取梨生産振興事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0299 担い手ステップアップ支援事業 (簡略番号: 035372)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	事業の種類	未設定		
経費区分	経常的経費	補助単独区分	目的区分 農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,175	2,673	502	2,673	2,613
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	2,607	1,861	746	1,905
	一般財源	568	812	△244	768

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 認定農業者等の意欲的な農業者を担い手として位置付け、中古機械購入や修理費の助成を行うほか、移住新規就農者への家賃助成などを行う。
【事業の必要性】
 本町の農業就業人口は、65歳以上の割合が7割を超えるなど高齢化が進み、農家人口及び農業従事者が減少しており、農業の将来を担うべき農業経営者や新規就農者、後継者を確保するために認定農業者や認定新規就農者、集落営農組織等を育成する必要がある。
【事業費】
 就農奨励金 300千円、中古機械導入補助 500千円×3件=1,500千円
 機械修理補助 100千円×10件=1,000千円
 機械修理補助(R6要望分)375千円 合計 3,175千円

2. 根拠法令
 農業経営基盤強化促進法
 湯梨浜町担い手ステップアップ支援事業補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活気ある元気なまち (農林水産業の振興)
 SDGs 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 農業担い手育成のための町単独事業として引き続き実施し、就農予定者に制度PRする。予算を増額し、集落営農組織の組織化及び農地集積を推進したい。
【事業の効果】
 農業の担い手育成及び増加を図り地域農業の振興を図る。
【前年度の評価】
 認定新規就農者、認定農業者、集落営農組織等の営農を支援し、地域農業の振興を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】 2,607千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金) **【一般財源】** 568千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費	
02 給料			17 備品購入費	
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,175
04 共済費			19 扶助費	
05 災害補償費			20 貸付金	
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金	
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料	
08 旅費			23 投資及び出資金	
09 交際費			24 積立金	
10 需用費			25 寄附金	
11 役務費			26 公課費	
12 委託料			27 繰出金	
13 使用料及び賃借料			予備費	
14 工事請負費				
15 原材料費			合計	3,175
				3,175

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,607	1,861

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 01項 03目 029900000事業 担い手ステップアップ支援事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0322 低コストハウス施設園芸等推進事業 (簡略番号：041078)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,805		3,805		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	3,170		3,170	
	地方債				
	その他				
一般財源	635		635		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 県が開発した鳥取型低コストハウスを導入し、高収益な野菜・花き・果樹等のハウス栽培品目の生産振興を図る。補助2/3(国1/3、県2/9、町1/9)
【事業の必要性】
 新規就農者のスイカ栽培を支援するため。
【事業の内容】
 ハウスの新設(1棟・492㎡)に係る費用を支援する。
 事業費 5,707,200円(上限)※上限単価 11,600円/㎡
 補助額 3,804,800円

2. 根拠法令
 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業交付要綱
 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業実施要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標12 つくる責任つかう責任

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新規就農者に対し、ビニルハウス新設を支援。
【事業の効果】
 園芸品目(スイカ)の生産振興を図る。
【前年度評価】
 制度利用なし。

6. 財源の説明
【県支出金】3,170千円
【一般財源】635千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	3,805	3,805
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	3,805	3,805

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401437	低コストハウス施設園芸等推進	3,170	

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県産地主体型就農支援モデル確立事業費補助金				
補助基本額	5,708	補助率	66.6%	補助金額	3,107

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0329 就農応援交付金事業 (簡略番号：041503)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)				
区分	事業費	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金	2,400		2,400		700
	県支出金	1,600		1,600		
	地方債					
	その他					
	一般財源	800		800		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 国制度の農業次世代人材投資事業・就農準備資金（経営開始資金）の支援を受けられない農業生産に取り組む新規就農者に対し、県の新規就農者支援制度を活用して就農初期の運転資金をはじめ生活費用に充てられる交付金を交付し、安定経営を支援する。
 ※補助率10/10(県2/3、町1/3) 100千円/月×最大3年間

【事業の必要性】
 世帯の所得状況により国制度の農業次世代人材投資事業・就農準備資金（経営開始資金）（経営開始型）が利用できない認定新規就農者を支援する。

【事業の内容】
 認定新規就農者および予定者1名に対しそれぞれ1,200千円（100千円×12月）を交付。
 ※1200千円×2名=2,400千円

2. 根拠法令
 鳥取県就農応援交付金要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（魅力とやりがいのある農林水産業）
【SDGs】目標15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 4月以降、新規就農者および予定者に対しそれぞれ1,200千円（100千円×12月）を交付予定。
【事業の効果】
 就農初期の生活安定を支援し、農業生産振興を図る。
【前年度評価】
 制度利用なし。

6. 財源の説明
【県支出金】 1,600千円
【一般財源】 800千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,400	2,400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	2,400	2,400

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401205	就農応援交付金	1,600	

【補助金】

補助金等の名称	就農応援交付金				
補助基本額	2,400	補助率	66.6%	補助金額	1,600

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 032900000事業 就農応援交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	03	農業振興費
事業	大	0331 スマート農業促進事業 (簡略番号：042304)						
	中							
細								
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一業一その他				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	1,605		1,605		6,130	
	国庫支出金						
	県支出金	1,070		1,070			
	地方債						
	その他						
一般財源	535			535			

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 農業における省力・軽労化や労働力確保・技術継承に向けて、スマート農業の導入を進める(事業対象者:認定農業者、集落営農組織、任意組織)。

【事業の必要性】
 スマート農業の実践に必要な農業用機械等の導入に係る経費を支援するため。

【事業の内容】
 [実装支援(一般型)] ※補助率1/2(県1/3、町1/6) 限度額 個人300万円、組織700万円
 認定農業者(1組織) 防除用ドローン補助金1,605千円(事業費3,210千円)
 ※生産管理システム必須(作業、生育、収穫、出荷記録、作業管理等の営農データを管理)

2. 根拠法令
 農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
 【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
 【SDGs】目標15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
 【本年度の計画】
 作業の省力化を目指し、防除用ドローンを整備。
 【前年度評価】
 制度利用なし。

6. 財源の説明
 【県補助金】1,070千円
 【一般財源】535千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,605	1,605
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	1,605	1,605
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401439	スマート農業社会実装推進事業	1,070	

【補助金】

補助金等の名称	農業生産拡大に向けたスマート農業推進事業費補助金		
補助基本額	3,210	補助率	33.3%
		補助金額	1,070

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 033100000事業 スマート農業促進事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	03 農業振興費
事業	大 0341 埋設農薬対策事業 (簡略番号：045597)	中		小	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	新規	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業	目的区分	農一業一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	25,588		25,588		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	19,191		19,191	
	地方債				
	その他	2,132		2,132	
一般財源	4,265		4,265		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
農薬が埋設されている可能性が高い地点において、サンプリング、土壌分析などを行い、必要に応じて処理計画を作成する。実施主体は、町埋設農薬対策実行委員会[県、JA、町] (対応方針を協議) で、工事・業務の発注、契約は町で行う。

【事業の必要性】
県道倉吉青谷線拡幅予定地(舎人地区)に埋設されている可能性が高く、工事に支障をきたすため、県埋設農薬専門会議、県埋設農薬対策委員会の助言、対応方針により、調査し、必要に応じて回収する。令和7年度:調査・調査結果により処理計画作成。撤去が必要であれば、令和8年度以降に対応。
○事業費25,588千円 (調査費23,650千円、計画作成1,870千円ほか)
うち補助金19,191千円 (負担割合 国1/2、県1/4)
うち負担金 2,132千円 (JA1/12)
うち町費 4,265千円 (事業費の1/6)

2. 根拠法令
鳥取県埋設農薬安全管理要領
埋設農薬安全処理対策事業実施要領
湯梨浜町埋設農薬対策実行委員会設置要綱

3. 用地の状況
調査対象地は倉庫内も含むため資材撤去工事費を計上

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
サンプリング、土壌分析を実施し、必要に応じて処理計画を作成する。

6. 財源の説明
【県支出金】 19,191千円
【負担金】 2,132千円
【一般財源】 4,265千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	25,588	25,588	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	25,588	25,588

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401446	埋設農薬安全処理対策事業補助	19,191	
諸収入	20050302714	埋設農薬安全処理対策事業負担	2,132	

【補助金】

補助金等の名称	埋設農薬安全処理対策事業費補助金				
補助基本額	25,588	補助率	75.0%	補助金額	19,191

【実施計画】

実施計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 03目 034100000事業 埋設農薬対策事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0051 土地改良事業 (簡略番号：009681)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一 地一 農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	22,537	45,971	△23,434	47,104	21,134
財源内訳	国庫支出金			144	
	県支出金	9,857	10,799	△942	10,799
	地方債	600	19,000	△18,400	19,900
	その他	11,435	11,308	127	11,331
	一般財源	645	4,864	△4,219	4,930

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 農業生産基盤の整備及び補修を行う土地改良事業を実施する。
【事業の必要性】
 安定した農業生産活動の維持、継続を図るうえで農業施設等の整備・補修は必要。
 ○県しっかり守る農林基盤交付金事業
 工事請負費 16箇所 18,663,700円 設計委託料 2,736,700円
 ※補助率〔工事(町管理以外の事業)〕県40%、町40%、地元20%
 補助率〔工事(町管理事業)〕県50%、町50% ・補助率〔設計〕県50%、町50%
 ○県営事業負担金1箇所(谷奥ため池(福永))
 谷奥ため池6,600,000円×11%=726,000円
 ○ため池監視装置通信及び補修費(5箇所) 59,950円×5箇所=299,750円

2. 根拠法令
 鳥取県しっかり守る農林基盤交付金実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 地区要望に基づき県交付金事業を活用して土地改良工事及び測量設計を実施する。また県営事業にて実施する谷奥ため池改修工事を行う。
【事業の効果】
 農業用施設の延命化、災害発生の未然防止、利便性の向上により生産活動を支援する。
【前年度評価】
 地区の要望に基づき土地改良事業を実施し、農業生産活動の支援と農地の維持を図った。

6. 財源の説明
【県補助金】 9,857千円 **【分担金】** 2,132千円 **【繰入金】** 3,503千円(ふるさと湯梨浜応援基金)、5,800千円(ふるさと農村活性化基金)
【地方債】 600千円(公共事業等債(充当率90%、交付税措置率50%))
【一般財源】 645千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	726	726
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	30	30	25 寄附金		
11 役務費	300	300	26 公課費		
12 委託料	2,737	2,737	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	80	80	予備費		
14 工事請負費	18,664	18,664			
15 原材料費			合計	22,537	22,537

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401033	しっかり守る農林基盤交付金(9,633	10,680
都道府県支出金	15020401259	ため池防災減災対策推進事業費	224	119
分担金	12010101005	土地改良事業分担金	2,132	2,990
繰入金	18020601401	ふるさと農村活性化基金繰入金	5,800	6,000
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	3,503	2,318
地方債	21010401001	公共事業等債(河川応急事業)		1,000
地方債	21010401006	公共事業等債(農村地域防災減)	600	18,000

【補助金】

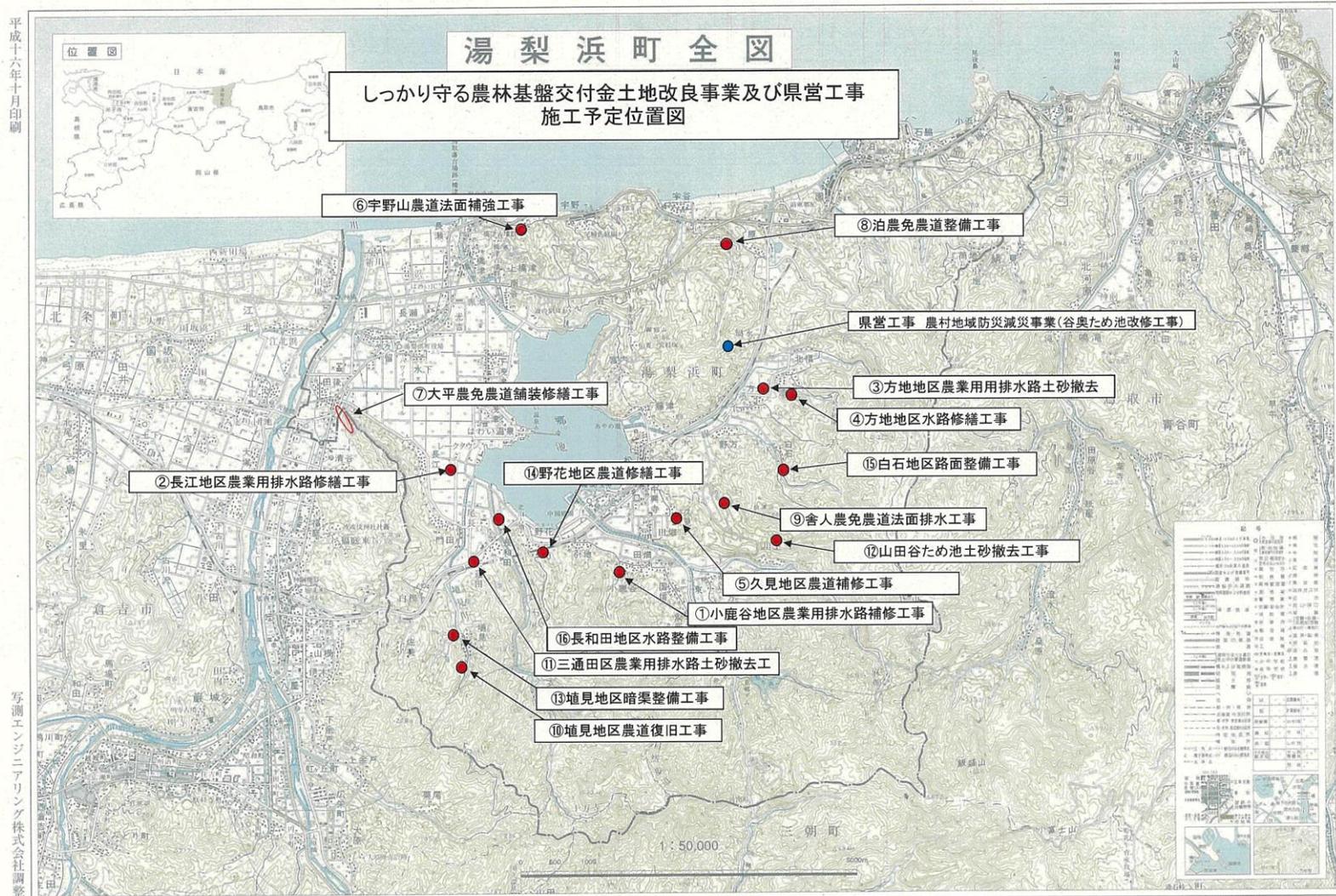
補助金等の名称	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金				
補助基本額	21,400	補助率		補助金額	9,634

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 005100000事業 土地改良事業

事業名 土地改良事業



歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0122 農林漁業金融公庫融資資金償還金補助 (簡略番号：009743)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31				
経費区分	未設定				
補助単独区分	目的区分 農一地一その他				

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	400	500	△100	500	700
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	400	500	△100	500

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 仙津土地改良区が行なった山田谷地区整備の建設資金償還金に係る支援を継続実施するもの。(事業実施期間：H20～R10)
【事業の必要性】
 生産者は多面的機能支払交付金への取り組みや、組合員全員による定期的な維持管理を実施されるなど意欲的に活動されている。運営母体である仙津土地改良区を支援することにより経営が安定化し、結果として地区の農業振興に寄与するため今後も必要である。
【事業の内容】
 仙津土地改良区農地開発事業償還金補助金 400千円
 ※償還金補助基準 元金の50%×1/3(10万円未満切捨て)
 2. 根拠法令
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画効果】
 改良区の維持運営が継続的に行われることで、営農環境の保全及び農業後継者のための基盤整備を支援することにより、結果として農業振興に寄与する。
【前年度評価】
 仙津土地改良区への支援が行われ、計画通り償還が行われた。
 6. 財源の説明
【一般財源】 400千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	400	400
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	400	400
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	農地費	
事業	大	0124 多面的機能支払交付金事業 (簡略番号：009751)							
	中								
	小								
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	経常		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	農一地一その他					

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	32,891	34,411	△1,520	34,411	30,561	
	国庫支出金						
	県支出金	24,722	25,856	△1,134	25,856		
	地方債						
	その他						
	一般財源	8,169	8,555	△386	8,555		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

1. 農地維持支払
水路・農道等の地域資源の基礎的保全活動、地域資源の適切な保全管理のための推進活動

2. 資源向上支払
共同：地域共同による施設の軽微な補修及び植栽等による農村環境保全活動
長寿命化：老朽化が進む農業用排水路等の長寿命化のための補修・更新等の活動
R6取組組織数：広域活動組織1(15団体)、その他活動組織6 計7組織

【事業の必要性】

水路・農道等の管理を地域ぐるみで支え、多面的機能が今後も適切に維持・発揮されるために必要である。

【事業費】

本体事業費32,674千円 推進事業費217千円

2. 根拠法令

農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
多面的機能支払交付金実施要綱、同実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
活動組織が行う農地・水路等の保全活動や農道・水路等の長寿命化のための補修・更新の取組みを支援する。

【事業の効果】
農業・農村の有する多面的機能の発揮が図られる。

【令和6年度評価】
広域活動組織(15団体)を含む6組織に対して支援を行った。

6. 財源の説明

【県支出金】 24,722千円
【一般財源】 8,169千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	109	109	18 負担金、補助及び交付金	32,674	32,674
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	60	60	25 寄附金		
11 役務費	48	48	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	32,891	32,891

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401004	多面的機能支払交付金	24,722	25,856

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県多面的機能支払交付金 (推進費除く)				
補助基本額	32,674	補助率	75.0%	補助金額	24,506

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

05款 01項 04目 012400000事業 多面的機能支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0125 環境保全型農業直接支払交付金事業 (簡略番号：031359)	新規・継続	継続	臨・経	経常
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31				
経費区分	経常的経費				
補助単独区分	事業の種類 未設定				
	目的区分 農一地一その他				

所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	235	245	△10	245	246
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	188	195	△7	195
	地方債				
	その他				
一般財源	47	50	△3	50	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 化学合成肥料、化学合成農薬を県慣行基準値から原則5割以上低減する取組と合わせて以下の対象取組を行う環境に配慮した営農活動を支援する。
 対象取組：カバークロープの作付け、堆肥の施用等
 組織数：1 (原)
【事業の必要性】
 農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくため、より環境保全に効果の高い営農活動を地域でまとまって取り組むために必要な支援である。
【事業費】
 本体事業185千円 推進事業50千円

2. 根拠法令
 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律 (平成26年6月20日法律第78号)
 環境保全型農業直接支援対策実施要綱、同実施要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力のあるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】 目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 慣行栽培より農薬・化学肥料の使用量を5割以下にする取り組みを行う1組織を支援。
【事業の効果】
 農薬・化学肥料の使用量を低減することで、環境の改善につながることが期待できる。
【令和6年度評価】
 1組織に対して支援を行い、環境保全に効果の高い営農活動の展開に繋がっている。

6. 財源の説明
【県補助金】 188千円
【一般財源】 47千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	185	185
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	30	30	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	235	235

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401005	環境保全型農業直接支払交付金	188	195

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県環境保全型農業直接支払交付金 (推進費除く)				
補助基本額	185	補助率	75.0%	補助金額	138

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 012500000事業 環境保全型農業直接支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費	所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)	
事業	大	0126 中山間地域等直接支払交付金事業 (簡略番号：034152)							
	中								
	小								
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	経常			
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定					
補助単独区分			目的区分	農一業一その他					

財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費		2,741	2,757	△16	2,757
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	2,068	2,080	△12	2,080	
	地方債					
	その他					
	一般財源	673	677	△4	677	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 農業生産条件の不利益な中山間地域等において、集落等を単位に農用地を維持・管理する農業生産活動等に対して交付金を交付する。(4組織を予定)
【事業実施の必要性】
 中山間地域に広がる農地は全農地の4割を占め、食糧生産上、重要な地域であり、水源の涵養機能・洪水防止機能など多面的な機能を包括しており、保全を図る必要がある。
【事業費】
 本体事業費2,691千円 推進事業費50千円

2. 根拠法令
 農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律
 中山間地域等直接支払交付金交付要綱、同実施要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり(魅力とやりがいのある農林水産業)
【SDGs】目標15「陸の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 令和7年度より第6期対策を開始し、令和11年度までの5年間で活動実施予定。昨年度に引き続き、羽衣石、園、藤津の既存3集落に加え、令和3年度より新規取組を開始した仙津の4集落の農地保全活動及び共同活動を支援する。
【事業の効果】
 農地保全と合わせて水源涵養機能・洪水防止機能などを保持することが期待できる。
【令和6年度評価】
 4組織に対して支援を行い、農業生産活動の継続による農地の保全等が行われている。

6. 財源の説明
【県支出金】2,068千円
【一般財源】673千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,691	2,691
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費	30	30	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,741	2,741

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401006	中山間地域等直接支払交付金	2,068	2,080

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県農地を守る直接支払交付金(推進費除く)				
補助基本額	2,691	補助率	75.0%	補助金額	2,018

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 012600000事業 中山間地域等直接支払交付金事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0149 農道維持改良等事業 (簡略番号：009768)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一他一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	11,150	9,562	1,588	9,562	9,030
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	3,000	2,450	550	2,450
	地方債				
	その他	3,597	3,351	246	3,357
	一般財源	4,553	3,761	792	3,755

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 農業生産活動をより活発化するため、受益者が実施する農道・用排水路等の修繕工事の実施や原材料支給、町管理農道（大平農免、舎人農免、宇野山、泊ふるさと農道）の草刈等の維持管理を行うもの。
【事業の必要性】
 営農基盤の維持管理および町管理農道の適切な維持管理を進めるために必要である。
【事業費】 11,150千円
 農道等小規模修繕事業2,000千円、町管理農道修繕1,000千円、原材料支給事業3,000千円、町道維持管理関連4,870千円、消耗品30千円
 (新規)農道除雪支援事業：(補助率1/2(上限5万円)、受益者2戸以上の農道、対象:委託費、燃料費、機械借上料、消耗品等)250千円

2. 根拠法令
 鳥取県しっかり守る農林基盤交付金実施要領、湯梨浜町土地改良施設原材料等支給要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次湯梨浜町総合計画事業】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業の振興)
 SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 町管理農道の維持管理のほか地域で管理される農業用施設の維持補修事業を支援する。
【事業の効果】
 集落の小規模な農業用施設（農道、水路、ため池等）の保全が図られ、営農基盤の維持管理及び防災対策が図られる。
【前年度評価】
 町管理農道の効率的な維持管理と、各団体が実施する維持管理を支援することができた。

6. 財源の説明
【県補助金】 3,000千円(鳥取県しっかり守る農林基盤交付金)
【分担金】 400千円 土地改良事業分担金
【繰入金】 1,897千円 ふるさと湯梨浜応援基金繰入金
 1,300千円 ふるさと農村活性化基金繰入金
【一般財源】 4,553千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	250	250
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	3,030	3,030	25 寄附金		
11 役務費	300	300	26 公課費		
12 委託料	4,570	4,570	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費	3,000	3,000	合計	11,150	11,150

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401033	しっかり守る農林基盤交付金 (3,000	2,450
分担金	12010101005	土地改良事業分担金	400	400
繰入金	18020501401	ふるさと農村活性化基金繰入金	1,300	1,900
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,897	1,051

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県しっかり守る農林基盤交付金		
補助基本額	6,400	補助率	補助金額 3,000

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 01項 04目 014900000事業 農道維持改良等事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05	農林水産業費	項	01	農業費	目	04	農地費
事業	大	0150 東郷ダム管理負担金 (簡略番号：022785)						
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	未設定		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農一地一その他				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	7,528	7,368	160	7,368	4,675	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	4,500	4,500		4,500		
	その他	1,066	926	140	931		
	一般財源	1,962	1,942	20	1,937		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 県が管理する東郷ダムの管理負担金。日常の点検、保守のほか計画的に施設の更新・修繕が実施されており、令和6年度も引き続き主要施設であるダム管理用制御処理施設を更新するための負担金です。

【事業の必要性】
 制御処理設備はダムの流水管理に関わる演算処理や放流設備の操作を行う主要設備であり、放流設備を操作規則に基づき確実に操作するため必要である。

【事業費】
 R7当初相当分事業費 103,118,826円×7.3%≒7,527,674円
 ※負担割合は協定書に県92.7%、町7.3%と定められている。

2. 根拠法令
 東郷ダム管理に関する協定書 (H16.3.12締結)

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 経常的な管理運営に関する経費に加え、主要施設であるダム管理用制御処理設備更新に関する経費を負担する。
【事業の効果】
 東郷ダムの適正な管理により流域の洪水調節、かんがい用水、既得取水の安定化と河川環境の保全を図る。
【前年度評価】
 設備更新のための詳細設計業務等に係る事業費負担を行い適正な管理を図った。

6. 財源の説明
【地方債】 4,500千円 (公共事業等債 (充当率90%、交付税措置率50%))
【繰入金】 1,066千円 (ふるさと湯梨浜応援基金)
【一般財源】 1,962千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	7,528	7,528
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	7,528	7,528

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	1,066	926
地方債	21010401002	公共事業等債 (治水)	4,500	4,500

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 015000000事業 東郷ダム管理負担金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	04 農地費
事業	大 0293 畑作等促進整備事業 (簡略番号：044546)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31				
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分	補助事業	目的区分	農一 地一 農業農村整備		

所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	191,768	150,000	41,768	150,000	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	159,148	123,750	35,398	123,750
	地方債	29,300	23,600	5,700	23,600
	その他				
	一般財源	3,320	2,650	670	2,650

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内の高収益作物導入により畑作生産活動をより活発化するために、国庫補助事業による農業基盤整備工事を実施し営農活動の維持発展を図る。水田及び保全農地を整備し、高収益作物への変換を図ることで、農業者の営農意欲の向上、経営安定化を進める。
 対象事業：今滝梨団地整備事業(令和5年度から7年度：3か年事業)
 補助率 国65%、県17.5%、町17.5%、地元負担0%
【事業の必要性】 町特産の二十世紀梨栽培の生産維持及び高収益作物栽培拡大
【事業内容】 今滝梨団地整備事業工事請負費 191,768千円
 ○事業場所：北福・漆原地内 ○事業実施区域面積 3.5ha(内果樹栽培面積2.5ha)
 ○令和7年度工事内容：灌水施設整備、暗渠排水整備、果樹棚・防災網・防霜設備整備、梨苗導入業務、幼木管理

2. 根拠法令
 畑作等促進整備事業実施要綱・要領

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 17 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 実施設計及び区画整理を実施し、高収益作物が栽培可能で省力化・効率化が図れる畑作に特化した基盤への変換を行う。
【事業の効果】
 高収益作物導入のための基盤整備を実施し、営農活動の継続・意欲向上につなげる。
【令和6年度評価】
 区画整備工事に着手した。

6. 財源の説明
【県補助金】 159,148千円 **【一般財源】** 3,320千円
【地方債】 29,300千円
 (一般補助施設整備等事業債(充当率90%、交付税措置率20%))

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,368	13,368	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	178,400	178,400			
15 原材料費			合計	191,768	191,768

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401445	畑作等促進整備事業交付金	159,148	123,750
地方債	21010403001	一般補助施設整備等事業債(畑)	29,300	23,600

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県土地改良事業費補助金(畑作等促進整備事業)			
補助基本額	191,768	補助率		補助金額
				159,148

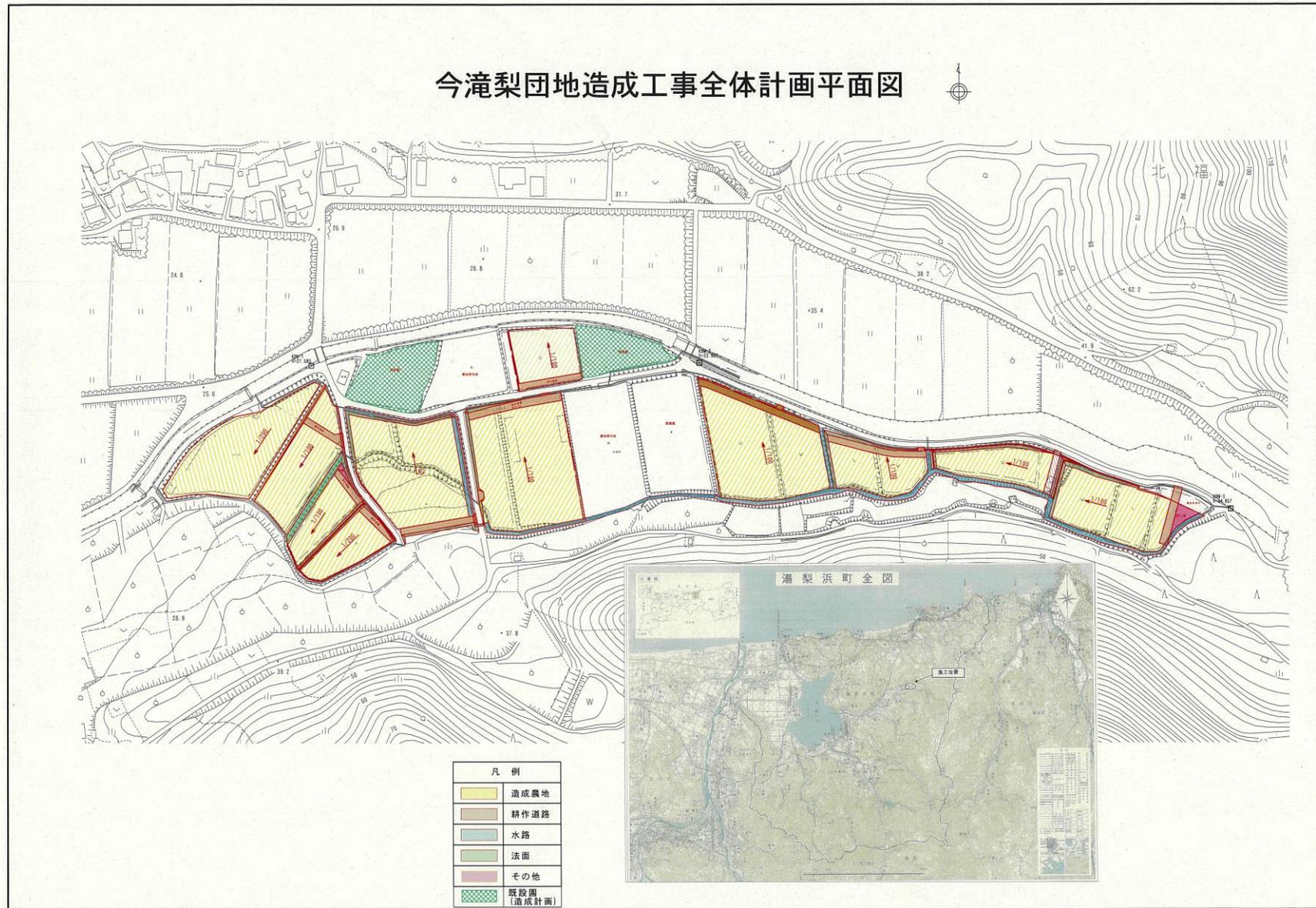
【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 04目 029300000事業 畑作等促進整備事業

事業名 畑作等促進整備事業

今滝梨団地造成工事全体計画平面図



歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	06 農業施設管理費
事業	大 0051 羽衣会館管理臨時経費	(簡略番号：037480)			
	中				
	小				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	3,333	194	3,139	194	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	3,100		3,100	
	その他				
	一般財源	233	194	39	194

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 羽衣会館の施設運営に係る維持管理経費。
【事業の必要性】
 各種工事と修繕を実施することで、安全で快適な施設の提供を行う必要がある。
【事業の内容】
 研修室照明設備LED化工事(6個所の修繕) 433,000円
 会議室、試食室エアコン取替工事 2,900,000円

2. 根拠法令
 湯梨浜町花見地区多目的活動施設の設置及び管理に関する条例
 湯梨浜町花見地区多目的活動施設の設置及び管理に関する条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 「にぎわいと活力あるまちづくり」 (魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs 目標12 「つくる責任つかう責任」

5. 本年度の計画効果
【事業計画】
 各種工事と修繕を実施し、安全で快適な施設の提供を行う。
【事業効果】
 施設を快適に使用いただくことで、地域住民の連帯感の醸成が図られる。
【令和6年度評価】
 安全で快適な施設の提供を行った。

6. 財源の説明
【地方債】 300千円(脱炭素化推進事業債(充当率90%、交付税措置50%))
【地方債】 2,800千円(緊急防災・減災事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 233千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	433	433	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	2,900	2,900	合計	3,333	3,333
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010405001	緊急防災・減災事業債	2,800	
地方債	21010406001	脱炭素化推進事業債	300	

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

05款 01項 06目 005100000事業 羽衣会館管理臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	01 農業費	目	06 農業施設管理費
事業	大 0211 活性化センター管理臨時経費 (簡略番号：036224)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一業一農業農村整備		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	19,475	8,386	11,089	8,386	2,671
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	18,300		18,300	7,700
	その他				
	一般財源	1,175	8,386	△7,211	686

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業概要】
 活性化センターはまなすの施設運営に係る維持管理経費。
【事業の必要性】
 各種工事と修繕を実施することで、安全で快適な施設の提供を行う必要がある。
【事業の内容】
 高圧設備修繕(高圧機器ケーブル修繕、外灯照明修繕、自販機モニター修繕) 8,024千円
 多目的ホール水銀灯LED化工事 11,451千円

2. 根拠法令
 湯梨浜町農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例
 湯梨浜町農産物加工等施設の設置及び管理に関する条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標12 「つくる責任つかう責任」

5. 本年度の計画効果
【事業計画】
 各種工事と修繕を実施し、安全で快適な施設の提供を行う。
【事業効果】
 施設を快適に使用いただくことで、地域住民の連帯感の醸成が図られる。
【令和6年度評価】
 安全で快適な施設の提供を行った。

6. 財源の説明
【地方債】 10,300千円(脱炭素化推進事業債(充当率90%、交付税措置50%))
【地方債】 8,000千円(過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 1,175千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	19,475	19,475			
15 原材料費			合計	19,475	19,475

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010406002	脱炭素化推進事業債(活性化セ	10,300	
地方債	21010407004	過疎対策事業債(活性化センタ	8,000	

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 01項 06目 021100000事業 活性化センター管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大 0024 竹林対策事業 (簡略番号：022742)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一林一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	47,297	28,741	18,556	12,886	19,379
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	43,323	25,472	17,851	10,660
	地方債				
	その他	3,974	3,269	705	2,226
	一般財源				

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 放置竹林対策のためタケノコ生産等に関する講習会の開催、景観保全のための樹種転換事業の支援及び森林整備をするとともに県補助事業を活用した竹林整備事業の推進を図る。
【事業の必要性】
 樹園地などの耕作放棄地に拡大している放置竹林は、森林としての保水力の低下や景観を損ねるほか、有害鳥獣被害拡大の原因ともなっており、対策を進める必要がある。
【事業費】
 竹林整備事業46,111千円 東郷湖周辺景観保全事業1,068千円 タケノコ生産啓発関連・放置竹林対策協議会118千円 計47,297千円

2. 根拠法令
 鳥取県森林環境保全税関連事業費補助金交付要綱
 竹林整備事業実施要領
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
 SDGs目標 15 陸を豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 森林環境譲与税を活用しタケノコ生産に関する講習会の開催、景観保全のための樹種転換に対する支援を行うとともに、県補助事業を活用した竹林整備事業の支援を行う。
【事業の効果】
 森林機能や景観の保全、竹の有効活用による持続的な産業振興につなげる。
【前年度評価】
 竹林整備事業を支援し景観や森林機能の保全が図られた。

6. 財源の説明
【県支出金】 43,323千円
【繰入金】 3,974千円 (森林環境譲与税繰入金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	20	20	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	46,277	46,277
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	36	36	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費	3	3	23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	49	49	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	902	902	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料	10	10	予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	47,297	47,297

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020402009	森林環境保全税関連事業費(竹)	43,323	25,472
繰入金	18020701001	森林整備基金繰入金	3,974	3,269

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	02 林業費	目	02 林業振興費
事業	大 0123 鳥獣被害総合対策事業 (簡略番号：010525)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一林一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	15,516	13,683	1,833	13,944	13,760
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	6,783	6,747	36	6,730
	地方債				
	その他				
	一般財源	8,733	6,936	1,797	7,214

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内で発生、拡大している有害鳥獣の農作物被害を減少させるため、侵入防止施設の整備助成や有害鳥獣捕獲の推進を図る。
【事業の必要性】
 イノシシをはじめとする有害鳥獣による農作物被害が拡大しており、営農意欲の減退や離農の加速も懸念されるため対策を積極的に推進する必要がある。
【事業の内容】
 実施隊捕獲出役報償金1,150千円、(新規:県)ツキノワグマ遭遇回避総合対策事業87千円、有害鳥獣捕獲奨励金8,643千円、消耗品費20千円 狩猟免許取得更新助成等184千円、スマート捕獲導入補助225千円、町鳥獣被害対策協議会補助金410千円、侵入防止施設の設置補助3,542千円、(新規:県)射撃環境改善事業補助金63千円、(新規)有害鳥獣侵入防止柵補修補助金1,000千円、(新規:県)豚熱感染区域ジビエ出荷事業補助金192千円 合計15,516千円

2. 根拠法令
 鳥取県鳥獣被害防止総合対策交付金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱
 湯梨浜町有害鳥獣捕獲支援機器導入事業費補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 電気柵やワイヤーメッシュ等侵入防止施設の整備及び修繕助成や捕獲檻購入助成、捕獲従事者の資格取得及び銃技術向上支援、捕獲奨励金を含む支援事業を実施する。
【事業の効果】
 防護柵の設置や有害鳥獣捕獲等を支援し、農作物被害の減少、営農意欲の維持向上を図る
【前年度評価】
 有害鳥獣捕獲及び電気柵やワイヤーメッシュの設置助成等により農業被害防止に努めた。

6. 財源の説明
【県支出金】 6,783千円 **【一般財源】** 8,733千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	1,237	1,237	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	5,616	5,616
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費	8,643	8,643	22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	20	20	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	15,516	15,516
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020402409	鳥獣被害総合対策事業補助金	6,582	6,747
都道府県支出金	15020402420	射撃環境改善事業補助金	31	
都道府県支出金	15020402421	鳥取県ツキノワグマ遭遇回避総	43	
都道府県支出金	15020402422	豚熱感染確認区域ジビエ出荷事	127	

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県鳥獣被害総合対策事業補助金			
補助基本額	14,124	補助率		補助金額
				6,783

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 02項 02目 012300000事業 鳥獣被害総合対策事業

鳥獣被害総合対策事業

(歳出予算事業概要書 補足資料)

【事業概要等】有害鳥獣捕獲奨励金について、国交付金・県補助金を活用し、個体数の適正化を図り、農業被害防止を行う。財源としては国交付金(緊急捕獲活動経費)を活用し、町のお金と併給。

◆イノシシの猟期・猟期外奨励金について、豚熱感染区域指定に伴い令和9年度までの期間限定で増額する。

増額期間:豚熱感染確認区域として長期間の指定を想定されることから、令和9年度までとする。

増額内容:豚熱感染確認区域内で捕獲されたイノシシについては、豚熱ウイルス拡散防止のために実施する消毒作業費用やその資材費分として1,500円を増額する。

【イノシシ支給金(猟期外)】 (単位:円)

区分	令和6年度 支給額	内訳			令和7年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			15,500	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000	2,500	2,500	14,500	8,000	2,500	4,000
成獣 (その他)	12,000	7,000			13,500	7,000		
幼獣	12,000	1,000	3,500	7,500	13,500	1,000	3,500	9,000

【シカ支給金(猟期外)】 (単位:円)

区分	令和6年度 支給額	内訳			令和7年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	19,000	9,000			19,000	9,000		
成獣 (焼却等)	18,000	8,000			18,000	8,000		
成獣 (その他)	17,000	7,000	5,000	5,000	17,000	7,000	5,000	5,000
幼獣	11,000	1,000			11,000	1,000		

【イノシシ支給金(猟期)】 (単位:円)

区分	令和6年度 支給額	内訳			令和7年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			15,500	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000	0	5,000	14,500	8,000	0	6,500
成獣 (その他)	12,000	7,000			13,500	7,000		
幼獣	12,000	1,000	0	11,000	13,500	1,000	0	12,500

【シカ支給金(猟期)】 (単位:円)

区分	令和6年度 支給額	内訳			令和7年度 支給額	内訳		
		国交付金	捕獲奨励金			国交付金	捕獲奨励金	
			県	町			県	町
成獣 (ジビエ)	14,000	9,000			14,000	9,000		
成獣 (焼却等)	13,000	8,000			13,000	8,000		
成獣 (その他)	12,000	7,000	2,500	2,500	12,000	7,000	2,500	2,500
幼獣	6,000	1,000			6,000	1,000		

【その他支給金】 (単位:円)

区分	令和6年度 支給額	内訳			令和7年度 支給額	内訳		
		捕獲奨励金				捕獲奨励金		
		国	県	町		国	県	町
ヌートリア	3,000	—	1,500	1,500	4,000	—	1,500	2,500
アライグマ	10,000	—	5,000	5,000	10,000	—	5,000	5,000
ハクビシン その他	—	—	—	—	3,000	—	—	3,000

※その他の鳥獣とは、農業被害を確認した後に捕獲許可を受けたものとする。

【新規事業】

●鳥取県ツキノワグマ遭遇回避総合対策事業(県補助1/2)

出没時安全対策(薬殺・薬殺以外) 実施隊報酬21,600円/1回 × 延べ4人=86,400円

※錯誤捕獲、農地周辺での居座りにより住民に被害の恐れがある際の対応する対策

●鳥取県射撃環境改善事業補助金(県補助2/3)

射撃練習奨励金 事業費95,000円(5,000円×19人)×2/3=63,333円 ※銃による許可者19人

●鳥取県豚熱感染確認区域におけるジビエ出荷事業(県1/3、町1/6、処理施設1/2)

ジビエ処理施設へ搬入した個体がPCR検査で陽性の場合、廃棄処分に係る輸送費、焼却費用について支援。 想定7頭×54,700円×1/2=191,450円

●有害鳥獣侵入防止柵修繕補助金(町補助1/2)

県及び国事業で整備した侵入防止柵の内、部材が経年劣化、機能不全に対し修繕費を支援することにより営農継続を図る。 ※修繕費用200万円×1/2=1,000,000円

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	05	農林水産業費	項	02	林業費	目	02	林業振興費
事業	大	0305 保安林危険木伐採事業 (簡略番号: 043751)						
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31		新規・継続	継続		臨・経	臨時	
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	農-林-その他				

		所属	0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	300	300			300	
	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債						
	その他	300	300				
	一般財源						

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業概要】
民家、道路等に隣接して介在する保安林及び急傾斜地崩壊危険区域について、伐採規制等により繁茂し、倒木の恐れがある樹木等から住民の生命・財産を守ることを目的とし、危険木の伐採に係る費用について補助金を交付する。
保安林を管理する行政区及び個人に対し、適正な状態を維持するため伐採・撤去費用の3分の2を助成する(補助上限30万円)。

【事業の必要性】
保安林の持つ公益的機能を維持するとともに、安心安全な生活を確保する。

【事業費】
補助金 300千円 (伐採・撤去費用×2/3、補助上限30万円) 指定区域1箇所を想定

2. 根拠法令
湯梨浜町保安林危険木伐採事業補助金交付要綱

3. 用地の状況
保安林 (民有地)

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs目標 15 陸の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
保安林・急傾斜地崩壊危険区域各1地区の危険木伐採費用に対し補助金を交付する。
【事業の効果】
保安林等の持つ公益的機能の維持及び安心安全な生活の確保。

6. 財源の説明
【繰入金】 300千円 (森林環境譲与税繰入金)

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	300	300
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費			合計	300	300
15 原材料費					

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18020701001	森林整備基金繰入金	300	300

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 02項 02目 030500000事業 保安林危険木伐採事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費
事業	大 0023 東郷湖漁協漁業振興補助金 (簡略番号：010679)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助金区分		目的区分	農一水一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	450	466	△16	466	400
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	332	324	8	332
	一般財源	118	142	△24	134

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
覆砂事業を東郷湖漁業協同組合が実施するにあたり助成を行う。(砂は鳥取県から提供を受ける。)

【事業の必要性】
覆砂事業の実施により東郷池の水質浄化およびシジミの増殖が図られる。シジミの資源量は思うように増えず苦慮しており、漁獲量の減少が心配されるため、引き続き1,000㎡程度の砂を漁場に撒くことで漁場改善及び増殖を図る。

【事業費】
覆砂事業：町上限額 1,350千円×1/3=450千円

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
覆砂事業を東郷湖漁業協同組合が実施するにあたり助成を行う。
【事業の効果】
平成20年度から継続して実施しており、シジミの増殖および水質浄化が見込める。
【R6年度評価】
シジミの収穫量の安定に取組んだ。

6. 財源の説明
【繰入金】332千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】118千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	450	450
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	450	450

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	332	324

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	03 水産業費	目	01 水産業振興費	(簡略番号：038010)
事業	大 0213 漁業研修事業	中		細		
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分	目的区分	農一水一その他				

所属		0101012200-0000		産業振興課 (農林水産)	
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	5,488	2,265	3,223	3,878	1,816
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	4,647	1,904	2,743	3,300
	地方債				
	その他				
	一般財源	841	361	480	578

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 定置網漁業の船員及び新規漁業者の独立に対する漁業研修費補助。指導経費、研修手当、研修用具費、赴任旅費、移住定住準備金、住居・通勤手当について支援する。
【事業の必要性】
 漁業技術等を習得するための研修を行い、漁業の安定経営を支援し担い手の育成を図る。
【事業費】
 漁業研修費補助金(県漁協)
 雇用型研修 1名(継続) 757,332円 (うち県補助金637,332円)
 雇用型研修 1名(新規) 2,364,996円 (うち県補助金2,004,996円)
 雇用型研修 1名(新規) 2,364,996円 (うち県補助金2,004,996円)

2. 根拠法令
 鳥取県漁業研修事業費補助金交付要綱
 湯梨浜町農林水産業間接補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業) SDGs 目標14「海の豊かさを守ろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 定置網漁業研修者(雇用型)：新規1名を雇用して研修を実施。
【事業の効果】
 定置網漁業運営のための人材育成と新規漁業者の独立支援による漁業振興が図られる。
【令和6年度評価】
 2人の定置網漁業研修生に対して支援を実施し、安定した操業につなげている。

6. 財源の説明
【県支出金】 4,647千円
【一般財源】 841千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	5,488	5,488
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	5,488	5,488

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020403411	漁業研修事業費補助金	4,647	1,904

【補助金】

補助金等の名称	漁業研修事業費補助金				
補助基本額	5,488	補助率	84.6%	補助金額	4,647

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 03項 01目 021300000事業 漁業研修事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	05 農林水産業費	項	03 水産業費	目	02 漁港施設管理費
事業	大 0212 羽合漁港施設管理臨時経費 (簡略番号：038310)				
事業	中				
事業	小				
事業	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	農一水一その他		

所属	0101012200-0000	産業振興課 (農林水産)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	5,726	6,486	△760	6,486	4,334
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	2,445	2,675	△230	2,675
	地方債				
	その他				
	一般財源	3,281	3,811	△530	3,811

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
羽合漁港の適切な管理のために施設内の浚渫砂を羽合漁港管理海岸へ搬出し、海岸浸食対策を講ずる。

【事業の必要性】
羽合漁港の適切な管理として、浚渫砂を羽合漁港内の海岸浸食箇所に運搬養浜することで海岸浸食を防止する。

【事業費】
羽合漁港浚渫砂サンドリサイクル工事 5,725,500円
・養浜予定量1,000m³・浚渫予定量1,000m³

2. 根拠法令
湯梨浜町羽合漁港管理条例
湯梨浜町羽合漁港管理条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (魅力とやりがいのある農林水産業)
SDGs目標 14 海の豊かさを守ろう

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
羽合漁港施設内浚渫砂を管理区域内海岸へ運搬養浜する。
【事業の効果】
羽合漁港施設及び管理区域内海岸域の適正管理
【令和6年度評価】
羽合漁港施設等の適正管理をおこなった

6. 財源の説明
【県補助金】2,445千円
【一般財源】3,281千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	5,726	5,726			
15 原材料費			合計	5,726	5,726

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020401443	鳥取県サンドリサイクル協働連	2,445	2,675

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県サンドリサイクル交付金				
補助基本額	4,891	補助率	50.0%	補助金額	2,446

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

05款 03項 02目 021200000事業 羽合漁港施設管理臨時経費

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0030 町商工会育成補助金 (簡略番号：011091)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	11,368	10,984	384	10,984	11,041
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	8,379	7,644	735	7,828
	一般財源	2,989	3,340	△351	3,156

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町商工会が行う中小企業者に対する指導事業及び商工業の振興と安定を図るための事業に対して補助金を交付する。具体的には、事業承継、デジタル化やインボイス制度導入支援、商工会フェスタの開催、アクティビティの活用、まちゼミの取り組みを進める。

【事業の必要性】
事業者が直面する経営課題を克服し事業の継続とさらなる発展のため、町と町商工会が一体となった経営支援の強化及び地域振興策を進めるために必要である。

【事業費】
補助金 11,368千円

2. 根拠法令
湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
町と町商工会が一体となり事業者への経営支援の強化のほか、全国的に大きな問題となっている事業承継の対応やデジタル化を進めていく。また地域資源を活用した「アクティブツーリズム」事業の取り組みを進め、新たな販路開拓に繋がるように積極的に売り込む。

【事業の効果】
町内の商工業の振興と安定を図ることができる。

【令和6年度評価】
経営改善事業、地域総合振興事業等により町内事業者の支援をはじめ、地域振興や商工観光振興を推進した。

6. 財源の説明
【繰入金】8,379千円(ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】2,989千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	11,368	11,368
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	11,368	11,368

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	8,379	7,644

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 003000000事業 町商工会育成補助金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0050 企業拡充奨励金 (簡略番号：029488)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	904	1,789	△885	1,789	2,107
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	666	1,245	△579	1,275
一般財源	238	544	△306	514	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
事業規模の拡大のため、施設の増設や移設を行う町内事業者に対し、新たに賦課される固定資産税額相当額の奨励金を3カ年交付する。(限度額 1年度につき1千万円)

【事業の必要性】
施設の増設や移設を行った町内事業者に奨励金を交付することで、町の産業経済の振興発展を進めるために必要である。

【事業費】
補助金 904千円 (1事業者)

2. 根拠法令
湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
湯梨浜町がんばる企業応援条例
湯梨浜町がんばる企業応援条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 「にぎわいと活力あるまちづくり」 (商工業の振興)
SDGs 目標 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
対象事業者に奨励金を交付する。施設の増設や移設を検討している町内事業者の支援につなげる。
【事業の効果】
対象事業者の負担軽減を図る。町内での増設や移設などのための設備投資を促進させる。
【令和6年度の評価】
対象1事業者に奨励金を交付して負担軽減を図った。

6. 財源の説明
【繰入金】 666千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】 238千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	904	904
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	904	904

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	666	1,245

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 005000000事業 企業拡充奨励金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0055 チャレンジショップ支援奨励金 (簡略番号：032327)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,200	708	492	438	880
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	884	493	391	505
	一般財源	316	215	101	△67

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内の空き店舗や空き家を活用して創業する事業者に対し、その賃借料の1/2の奨励金を12カ月交付する。(月額5万円限度)
【事業の必要性】
 対象事業者に奨励金を交付することで、町内の商工業の振興と活性化を進めるために必要である。
【事業費】
 補助金 1,200千円 (継続分0件、新規2件見込む)
 2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町チャレンジショップ支援奨励金交付要綱
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち(商工業の振興)
 SDGs 目標 9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 対象事業者に奨励金を交付する。空き家や空き店舗を活用した創業を検討している事業者の支援につなげる。
【事業の効果】
 対象事業者の負担軽減を図る。町内での空き家や空き店舗を活用した創業を促進させる。
【令和6年度の評価】
 対象1事業者に奨励金を交付して負担軽減を図った。
 6. 財源の説明
【繰入金】884千円(ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【一般財源】316千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	1,200	1,200
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	1,200	1,200

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	884	493

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 02目 005500000事業 チャレンジショップ支援奨励金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費	
事業	大	0274 雇用促進奨励金 (簡略番号: 032064)				
	中					
	小					
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定		
補助単独区分			目的区分	商-その他		

		所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)	
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	800	800		600	
	国庫支出金					
	県支出金	178	189	△11	189	
	地方債					
	その他					
一般財源	622	611	11	411		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者を常用労働者として雇用する町内事業者に対し、6か月以上雇用した場合に奨励金を交付する。 (奨励金 対象労働者1人につき1回限り20万円)</p> <p>【事業の必要性】 就職を希望される町民の町内雇用を進めるために必要である。</p> <p>【事業費】 補助金 800千円 (200千円×4人)</p>	
2. 根拠法令	
湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例 湯梨浜町雇用促進奨励金交付要綱	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(雇用・就業の促進と労働環境の充実)</p> <p>【地方創生総合戦略】基本目標 I 活力ある元気なまち(雇用の促進) SDGs 目標 8「働きがいも経済成長も」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 対象事業者に奨励金を交付する。町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者の就職の支援につなげる。</p> <p>【事業の効果】 町内在住のシニア世代、就職氷河期世代、子育て世代の女性、移住定住者の就職を進める。</p> <p>【令和5年度評価】 1人を認定した。雇用が6月以上継続した場合奨励金を交付予定。</p>	
6. 財源の説明	
<p>【県支出金】市町村創生交付金 178千円</p> <p>【一般財源】622千円</p>	

【事業費内訳】						
	節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16 公有財産購入費		
02	給料			17 備品購入費		
03	職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	800	800
04	共済費			19 扶助費		
05	災害補償費			20 貸付金		
06	恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07	報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08	旅費			23 投資及び出資金		
09	交際費			24 積立金		
10	需用費			25 寄附金		
11	役務費			26 公課費		
12	委託料			27 繰出金		
13	使用料及び賃借料			予備費		
14	工事請負費					
15	原材料費			合 計	800	800

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	178	
都道府県支出金	15020501211	市町村創生交付金(雇用促進奨)		189

【補助金】					
補助金等の名称	市町村創生交付金				
補助基本額	800	補助率		補助金額	178

【実施計画】				
実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節 細節			

06款 01項 02目 027400000事業 雇用促進奨励金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費
事業	大 0279 創業・販路開拓支援事業 (簡略番号: 035401)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	4,065	4,065		5,271	2,384
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	238		238	
	地方債				
	その他	2,996	2,829	167	2,897
	一般財源	831	1,236	△405	2,374

【事業概要】
 1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 町内で創業、販路開拓や事業承継などを行う事業者への補助金の交付、セミナー等を開催することで、その取り組みを支援する。
 創業・新しい分野への進出のための事業＝必要経費の1/2 (上限50万円)
 販路開拓のための事業＝必要経費の1/2 (上限20万円)
 事業承継のための事業＝必要経費の2/3 (上限50万円)
【事業の必要性】
 創業、販路開拓、事業承継などの取り組みを行う事業者への補助金の交付や、セミナー等を開催することで、産業の振興、経済の活性化や生産性の向上を図るために必要である。
【事業の内容】
 創業・販路開拓支援事業 補助金4,000千円
 事業承継セミナー開催 消耗品費10千円、委託料55千円
 2. 根拠法令
 湯梨浜町中小企業・小規模企業振興基本条例
 湯梨浜町創業・販路開拓支援補助金交付要綱
 3. 用地の状況
 4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】「にぎわいと活力あるまちづくり」(商工業の振興)
【地方創生総合戦略】基本目標Ⅰ 活力ある元気なまち(商工業の振興)
 SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
 5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 創業、販路開拓や事業承継などの取り組みを行う事業者を支援する。
【事業の効果】
 町内での創業、新事業展開、販路開拓や事業承継の取り組みを促進させる。
【令和6年度評価】
 創業6件(うち1件は事業承継)、新事業展開1件、販路開拓2件を支援した。
 6. 財源の説明
【県支出金】市町村創生交付金 238千円、**【繰入金】**ふるさと湯梨浜浜応援基金繰入金 2,996千円、**【一般財源】**831千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	4,000	4,000
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費	10	10	25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	55	55	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	4,065	4,065

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020101001	市町村創生交付金	238	
繰入金	18021201001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	2,996	2,829

【補助金】

補助金等の名称	市町村創生交付金			
補助基本額	1,069	補助率		補助金額
				238

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 02目 027900000事業 創業・販路開拓支援事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	02 商工振興費	所属	0101012100-0000	産業振興課(商工観光)
事業	大 0290 県制度融資利子補給補助金事業	(簡略番号：037582)						
	中							
	小							
	細							
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時			
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定					
補助単独区分		目的区分	商-その他					

区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	5,244	9,363	△4,119	8,796
	地方債				
	その他	4,001	8,096	△4,095	7,618
	一般財源	1,272	1,271	1	1,181

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 災害や経済変動事象により影響を受けた町内事業者が利用する県制度融資の利子負担を県と町で軽減するため、利子相当額の補助金を交付する。
【事業の必要性】
 影響を受けた町内事業者の資金繰り負担を軽減するために必要である。
【事業費】 補助金10,489千円、積立金 28千円

2. 根拠法令
 鳥取県企業自立サポート事業基本要綱
 鳥取県新型コロナウイルス感染症対応利子補助金交付要綱【補完型】
 湯梨浜町地域経済変動対策資金利子補給補助金交付要綱
 湯梨浜町災害等緊急対策資金利子補給補助金交付要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力のあるまちづくり(商工業の振興)
 SDGs 目標9「産業と技術革新の基盤をつくろう」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 新型コロナウイルス、価格高騰等による県制度融資を実質無利子化している金融機関に補助金を交付する。また災害や経済変動事象により県制度融資が創設された場合、県と協調してその利子負担軽減を図る。
【事業の効果】
 事業者の県制度融資の利子負担を軽減する。
【令和6年度の評価】
 新型コロナウイルスおよび価格高騰等による県制度融資の実質無利子化を実現した。

6. 財源の説明
【県補助金】 県制度融資利子補給補助金 5,244千円
 (うちコロナ3,973千円、価格高騰等1,271千円)
【財産収入】 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給基金利子 28千円
【繰入金】 新型コロナウイルス感染症関連融資利子補給基金繰入金 3,973千円
【一般財源】 1,272千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	10,489	10,489
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金	28	28
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	10,517	10,517

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020501207	県制度融資利子補給補助金	5,244	9,363
財産収入	16010201422	新型コロナウイルス感染症関連	28	2
繰入金	18021601001	新型コロナウイルス感染症関連	3,973	8,094

【補助金】

補助金等の名称	鳥取県新型コロナウイルス感染症・価格高騰等対応利子補助金				
補助基本額	10,489	補助率	50.0%	補助金額	5,244

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 02目 029000000事業 県制度融資利子補給補助金事業

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0030 町観光協会補助金 (簡略番号：011331)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	12,090	11,467	623	11,467	10,483
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	12,090	11,467	623	11,467

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町の観光振興のため各関係機関と連携しながら、観光商品の企画運営や商品開発、観光客受入に資する事業などを実施。職員を2名配置し事務局を運営。
(1)経常経費(報償費、人件費、旅費、需用費、役務費、委託料等)
(2)事業費(観光客誘致宣伝事業費、各種事業運営費補助等)

【事業の必要性】
観光は旅館業や飲食業、農業、商業などの経済効果のみならず、地域づくりも包含した裾野の広い分野である。コロナ後の本町の観光客の回復に向け、積極的な支援を行う必要がある。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あふれるまちづくり(観光の振興)
SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
主要事業の着地型観光商品や教育旅行などの観光企画・商品の一層の充実を図る。動画作成やInstagram、XなどのSNSに重点を移した情報発信活動を強化する。
【事業の効果】
観光商品の充実と広報活動を強化することで誘客が促進され、コロナ後の観光需要の回復に寄与する。
【R6年度評価】
教育旅行は11月末時点で1,213名とR5年の968名と比較すると25%の増となったがコロナで特別に多かったR4年の3,930名に比べると1/3程度に留まっている。宿泊客については養生館・水明荘の休館があり、R5実績(4～11月)75,322人に対し、75,242人と伸び悩んでいる。観光競争力向上のためには観光企画・商品の開発、付加価値化及び販促宣伝活動の強化は不可欠で、観光協会への積極的な支援が必要である。
※10月宿泊者数(R5:8,081人 R6:11,064人) 11月宿泊者数(R5:11,330人 R6:12,003人)

6. 財源の説明
【一般財源】 12,090千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	12,090	12,090
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	12,090	12,090

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 03目 003000000事業 町観光協会補助金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0129 町旅館組合補助金 (簡略番号：021050)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商-その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,725	6,777	△52	6,777	6,777
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,725	6,777	△52	6,777

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】

はわい温泉・東郷温泉の振興を図るため、各関係機関と連携しながら、観光客を誘致するための事業を展開する。主なものは、温泉むすめトークイベント(6月)、ほたるバス(6月)、痛車フェスティバル(6月)、夏イベント(しゃんしゃん傘踊りなど)(7～8月)、冬旅マイカーCP(12～2月)、クリスマスイベント(12月)、温泉むすめ誘客促進事業など。

【事業の必要性】

経済の低迷や旅行需要の変化など旅館の自助努力を上回る外的要因により、宿泊客等温泉地への入込数が伸び悩んでいる。新型コロナの影響により宿泊客が長期間減少し、5類移行後も回復が遅れるなか、両温泉の振興には旅館組合への積極的支援が必要である。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり

【SDGs】 目標8「働きがいも経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

旅館組合の誘客事業に対し積極的な支援を行うことで、観光客誘致を促進する。

【事業の効果】

宿泊拡大と周辺観光施設の入込客増加は密接なつながりがあることから、町、観光協会、旅館組合が連携して事業に取り組むことで、誘客の相乗効果が得られる。

【R6年度事業評価】

R6年3月より養生館が休館、5～7月は水明荘も休館のため、延べ7～8千人の減が生じるなか、4～11月宿泊者数ではわい温泉は53,432人→56,807人と3,375人の増となっている。東郷温泉も9月よりグランレイク鳥取がオープンし、月300人以上の好調を堅持している。
 ※4～10月宿泊者数(前年→今年度)養生館1,691人→0人、水明荘14,120→7,918人
 R4年度 67,108人 R5年度 75,322人 R6年度 63,239人

6. 財源の説明

【一般財源】 6,725千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	6,725	6,725
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	6,725	6,725

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 03目 012900000事業 町旅館組合補助金

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06	商工費	項	01	商工費	目	03	観光費
事業	大	0142	ガストロノミーウォーク事業費補助金 (簡略番号: 038352)					
	中							
	小							
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時		
経費区分	経常的経費		事業の種類	未設定				
補助単独区分			目的区分	商一観光				

		所属	0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)		
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	2,182	1,682	500	2,063	1,587	
	国庫支出金						
	県支出金	500		500	500		
	地方債						
	その他						
		1,682	1,682		1,563		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	<p>【事業の概要】 温泉地の魅力を食や文化とともに堪能していただく体験型観光イベントとして、「第8回 ONSEN・ガストロノミーウォーキングin湯梨浜町・はわい温泉東郷温泉」を開催する。</p> <p>【事業の必要性】 少子化やニーズの多様化等により国内交流人口が減少するなか、湯梨浜町の温泉、食材、ウォーキングコースを全国区のイベントとして発信することによって、その良さを町内外にPRし、イベント以外にも集客をつなげていく必要がある。</p> <p>【事業費】 事業計画額2,858,000円、 町補助金1,682,000円、県補助金500,000円(県補助金は間接補助)</p>
2. 根拠法令	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	<p>【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興) SDGs 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」</p>
5. 本年度の計画効果	<p>【本年度の計画】 町内コースによる食と景観を楽しむウォーキング大会の開催。温泉入浴券つき。定員200名。9月下旬開催予定。内容は実行委員会で協議。</p> <p>【事業の効果】 温泉入浴を前提とした事業であり、はわい温泉・東郷温泉の知名度向上が見込まれる。食事として提供した特産物について、県外への認知度向上が図られるとともに、将来的な消費拡大が図られる。温泉保養施設、旅館等への日帰り入浴や宿泊等の経済波及効果が得られる。</p> <p>【令和6年度の評価】 イベント開催により町のPRに資することができた。また参加者からは高い満足度を得た。</p>
6. 財源の説明	<p>【一般財源】 1,682千円 【県支出金】 500千円</p>

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金	2,182	2,182
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合 計	2,182	2,182

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020501302	地域と進める中部ウォーキング	500	

【補助金】			
補助金等の名称	地域と進める中部ウォーキングリゾート推進事業補助金		
補助基本額	1,000,000	補助率	50%
		補助金額	500,000

【実施計画】					
実施計画	部	章	節	細節	実施計画計上額

06款 01項 03目 014200000事業 ガストロノミーウォーク事業費補助金

歳出予算事業概要書

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	03 観光費
事業	大 0238 地域おこし協力隊事業 (関係人口促進) (簡略番号：043781)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	経費区分	経常的経費	事業の種類	未設定
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	6,059	9,220	△3,161	6,574	3,871
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
	一般財源	6,059	9,220	△3,161	6,574

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 地域おこし協力隊員 (観光担当1名・関係人口促進担当1名) に係る人件費。
 ○関係人口促進担当は主にワーケーションのPRや地域住民との交流による関係人口の推進等を図る。(任期 ～令和7年5月)
 ○観光担当は観光協会と連携しながら、地域の観光資源の磨き上げ及び掘り起こしに努め観光ツアーの企画実施等に関わっていただく。また、YpuTubeやInstagramなどのSNSを活用した観光情報の発信を行い、域外からの観光誘客を図る。

【事業の必要性】
 豊かな自然や温泉などの観光資源を存分に活かしたワーケーションの推進や町独自の観光ツアーなどによる誘客活動を強化し、コロナ後の観光需要の回復を図る。

2. 根拠法令
 湯梨浜町地域おこし協力隊設置要綱

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
 SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】

- 湯梨浜町のもつ地域の魅力を生かした関係人口の促進。
- 観光協会と連携し、教育旅行などの観光商品の企画運営及び観光情報の発信。

【事業の効果】
 新たな観光客の獲得が期待でき、地域活性化及び関係人口の促進が図られる。

【令和6年度の評価】
 ワケーションツアーの企画運営を行い、鳥大生を中心に関係人口の拡大に寄与することができた。また、Instagramを中心に動画を投稿し、SNSを通じて町の魅力を発信することができた。

6. 財源の説明
【一般財源】 6,059千円 ※ 特別交付税措置あり

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬	2,530	2,530	16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等	1,193	1,193	18 負担金、補助及び交付金	1,697	1,697
04 共済費	639	639	19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	6,059	6,059

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初

【補助金】

補助金等の名称	
補助基本額	補助率 補助金額

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 03目 023800000事業 地域おこし協力隊事業 (関係人口促進)

【事業名】 湯梨浜町観光商品開発・PR事業

【事業概要等】

1 目的

ふるさと納税推進において、地域資源の活用や観光商品のPRも併せて行っており、その知見を活かして、全国的な販路拡大や関係人口の創出を図るため、地域資源の新規発掘による商品開発や既存商品のブラッシュアップを行うもの。
本町の魅力や特産品を全国に広く発信し、もって本町の産業振興を図る。

2 事業スキーム

- (1) 本町固有の地域資源を活用した着地型、体験型観光商品の造成、開発及びブラッシュアップ
 - ・温泉、梨、グラウンド・ゴルフ、サイクル・ツーリズム、ウォーターアクティビティなど
- (2) ふるさと納税寄付者や観光客などの関係人口者へ町の旬の情報を提供
 - ・湯梨浜町の特産品を紹介した広報物や町広報誌などのDM送付によるPR
- (3) ふるさと納税を活用したPR
 - ・ふるさと納税を「特産品の広告手段」ととらえ、ふるさと納税サイトを活用したPRや販路開拓活動の強化
- (4) 全国に湯梨浜ファンを増やすためのSNSや動画を活用した情報発信・シティセールス
 - ・フェイスブック、インスタグラム、X(旧ツイッター)などの情報発信やYoutubeなどの動画を活用した町及び特産品のPR活動の強化
- (5) オンラインセミナー等による特産品のPR
 - ・オンラインによるリモートセミナー、研修会を開催し、県外者等に向けたPRや販路拡大活動
- (6) その他、町と連携して行う、町の観光推進、関係人口の創出、産業振興に必要な業務

3 委託事業者

- ・農業、漁業、商工業、観光業、サービス業などの多業種にコネクションがあり、事業者と連携を図れる事業者
- ・町のシティセールスの実績があり、観光推進、関係人口の創出、産業振興など町が求める事業内容を適切に理解し、実行できる事業者

以上の要件を満たす事業者として、湯梨浜まちづくり(株)を委託事業者として想定。

歳出予算事業概要書

令和7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	05 温泉ふれあい会館費
事業	大 0111 温泉ふれあい会館指定管理等経費 (簡略番号：025724)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一観光		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)				
財源内訳	区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
	事業費	5,210	5,210		6,806	6,303
	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	5,210	5,210		6,806		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 町立温泉ふれあい会館の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。令和7年度から5年間、一般財団法人ゆりはま温泉公社を指定管理者に定めている。 [指定期間：令和7年度～令和11年度(5年間)]</p> <p>【事業の必要性】 同会館の適切な維持管理により、来館者に町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができる場所を提供し、観光振興を図るために必要である。</p> <p>【事業費】 指定管理料：5,210千円</p>	
2. 根拠法令	
湯梨浜町立温泉ふれあい会館の設置及び管理に関する条例 湯梨浜町立温泉ふれあい会館の管理運営に関する規則 湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興) SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 町立温泉ふれあい会館の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。</p> <p>【事業の効果】 施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上が図られる。</p> <p>【令和6年度評価】 町多目的温泉保養施設や観光協会と連携した集客事業を実施するとともに、チラシ配布等の広報活動を行い、来館者の増加を図った。</p>	
6. 財源の説明	
【一般財源】 5,210千円	

【事業費内訳】						
	節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01	報酬			16	公有財産購入費	
02	給料			17	備品購入費	
03	職員手当等			18	負担金、補助及び交付金	
04	共済費			19	扶助費	
05	災害補償費			20	貸付金	
06	恩給及び退職年金			21	補償、補填及び賠償金	
07	報償費			22	償還金、利子及び割引料	
08	旅費			23	投資及び出資金	
09	交際費			24	積立金	
10	需用費			25	寄附金	
11	役務費			26	公課費	
12	委託料	5,210	5,210	27	繰出金	
13	使用料及び賃借料				予備費	
14	工事請負費					
15	原材料費				合計	5,210
						5,210

【特定財源の内訳】					
財源	科目コード	科目名称		本年度当初	前年度当初

【補助金】					
補助金等の名称					
補助基本額		補助率		補助金額	

【実施計画】						
実施計画	部					実施計画計上額
	章					
	節					
	細節					

06款 01項 05目 011100000事業 温泉ふれあい会館指定管理等経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
 現年 当初予算

(単位：千円)

款	06	商工費	項	01	商工費	目	06	温泉保養施設費
事業	大	0003 温泉保養施設管理臨時経費 (簡略番号：032450)						
	中							
	小							
事業期間		令 7. 4. 1～令 8. 3. 31		新規・継続	継続	臨・経	臨時	
経費区分		経常的経費		事業の種類				未設定
補助単独区分				目的区分		商-その他		

		所属		0101012100-0000		産業振興課 (商工観光)	
財 源 内 訳	区 分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
	事業費	8,624	49,570	△40,946	48,922	26,305	
	国庫支出金		5,325	△5,325	5,086		
	県支出金		2,662	△2,662			
	地方債	8,300	41,300	△33,000	43,800		
	その他						
一般財源		324	283	41	36		

【事業概要】	
1. 事業の概要と必要性	
<p>【事業の概要】 町多目的温泉保養施設（平成6年度供用開始）の経年劣化に伴う施設修繕。施設調査における修繕計画に従い年次的に実施する。</p> <p>【事業の必要性】 老朽化の進む設備を計画的に改修、更新を行うことで同施設の適切な管理による長寿命化を図り、来館者の満足度を高める。</p> <p>【事業費】 レストラン棟清掃費(264千円)、ファンコイルユニット更新工事8,360千円</p>	
2. 根拠法令	
湯梨浜町多目的温泉保養施設設置及び管理に関する条例 湯梨浜町多目的温泉保養施設設置管理規則	
3. 用地の状況	
4. 基本計画との関連	
<p>【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり（観光の振興）</p> <p>【過疎地域持続的発展計画（令和3年度～令和7年度）】産業の振興 SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」</p>	
5. 本年度の計画効果	
<p>【本年度の計画】 修繕計画および指定管理者との協議により、ゆアンス東郷龍鳳閣の改修工事等をおこなう。</p> <p>【事業の効果】 同施設の適切な管理を行い、来館者の満足度を高める。これにより、町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができ、同施設の来館者の増加につながる。</p> <p>【令和6年度評価】 修繕計画および指定管理者との協議に基づき、浴室天井改修工事、非常用発電機蓄電池取替工事、サウナ室板材取替工事、玄関先段差解消工事、バーデゾーン扉取替工事を実施し、施設の適正管理及び長寿命化を図った。</p>	
6. 財源の説明	
<p>【地方債】 8,300千円(過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))</p> <p>【一般財源】 324千円</p>	

【事業費内訳】					
節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費	264	264	26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	8,360	8,360			
15 原材料費			合 計	8,624	8,624

【特定財源の内訳】				
財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020502201	住宅・建築物耐震改修等事業補		5,325
都道府県支出金	15020604001	鳥取県震災に強いまちづくり促		2,662
地方債	21010503001	過疎対策事業債（温泉保養施設	8,300	41,300

【補助金】				
補助金等の名称				
補助基本額	補助率	補助金額		

【実施計画】				
実施 計画	部			実施計画 計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 06目 000300000事業 温泉保養施設管理臨時経費

歳出予算事業概要書

令和7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	06 温泉保養施設費
事業	大 0010 温泉保養施設指定管理等経費 (簡略番号：026395)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	商一その他		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	41,720	40,960	760	43,693	43,185
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	16,300	23,200	△6,900	22,800
	その他				
一般財源	25,420	17,760	7,660	20,893	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
町多目的温泉保養施設の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。令和7年度から5年間、一般財団法人ゆりはま温泉公社を指定管理者に定めている。
[指定期間：令和7年度～令和11年度(5年間)]

【事業の必要性】
町の観光資源の一つである温泉を気軽に楽しむことができる場所を提供し、住民の健康増進と福祉の向上を図るとともに、観光振興を促進するために必要。

【事業費】
指定管理料 41,720千円

2. 根拠法令
湯梨浜町多目的温泉保養施設設置及び管理に関する条例
湯梨浜町多目的温泉保養施設設置管理規則
湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
SDGs 目標 11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
町多目的温泉保養施設の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。
【事業の効果】
施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上が図られる。
【令和6年度評価】
中国庭園燕趙園、観光協会などと連携した集客事業、町と連携した健康づくり事業などを実施。住民の健康増進と福祉の向上、観光振興の促進に努めた。

6. 財源の説明
【地方債】 23,200千円(過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 18,520千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	41,720	41,720	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	41,720	41,720

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
地方債	21010503002	過疎対策事業債 (温泉保養施設)	16,300	23,200

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 06目 001000000事業 温泉保養施設指定管理等経費

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	07 グラウンドゴルフのふる里公
事業	大 0002 グラウンドゴルフふる里公園施設整備事業 (簡略番号: 026409)	中		細	
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31	新規・継続	継続	臨・経	臨時
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分	単独事業	目的区分	土一都一公園費		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	1,576	5,164	△3,588	5,937	2,067
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	382	2,110	△1,728	2,497
	地方債	1,100	2,700	△1,600	3,100
	その他				
一般財源	94	354	△260	340	

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園 (平成5年供用開始) の経年劣化に伴う施設修繕及び年次的な整備を行う。
【事業の必要性】
 老朽化の進む施設を計画的に修繕することで同施設の適切な管理による長寿命化を図る。また、発祥地大会や国際大会などの大規模な大会が本施設において充実した環境で開催されるよう、グラウンドゴルフの聖地化に向けて過疎対策事業債等を活用し改修整備を行う。
【事業費】
 恐竜模型1体の再塗装工事(810千円)、屋外スピーカー取替工事(766千円)

2. 根拠法令
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例施行規則

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
【過疎地域持続的発展計画 (令和3年度~令和7年度)】 産業の振興
 SDGs 目標11「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 指定管理者との協議により施設の老朽箇所の修繕をおこなう。
【事業の効果】
 施設の適切な管理を行い来園者の満足度の向上を図るとともに、地域活性化とさらなる競技普及及び来園者の増加につなげる。
【令和6年度評価】 クラブハウス照明更新工事、屋内アンプ更新工事を実施し、施設の魅力度アップに貢献した。

6. 財源の説明
【地方債】 1,100千円(過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【県支出金】 382千円 **【一般財源】** 94千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料			27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費	1,576	1,576			
15 原材料費			合計	1,576	1,576

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
都道府県支出金	15020803416	グラウンド・ゴルフの聖地化等	382	2,110
地方債	21010502001	脱炭素化推進事業債(グラウン		1,800
地方債	21010503003	過疎対策事業債(グラウンド・	1,100	900

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率	補助金額	

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			

06款 01項 07目 000200000事業 グラウンドゴルフふる里公園施設整備事業

歳出予算事業概要書

令和 7年度 001 一般会計
現年 当初予算

(単位：千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	07 グラウンドゴルフのふる里公
事業	大 0010 グラウンドゴルフふる里公園指定管理等経費 (簡略番号：026416)				
	中				
	小				
	細				
事業期間	令 7. 4. 1～令 8. 3.31	新規・継続	継続	臨・経	経常
経費区分	未設定	事業の種類	未設定		
補助単独区分		目的区分	土一都一公園費		

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)			
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算
事業費	13,040	8,755	4,285	8,755	8,755
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	13,000	8,700	4,300	8,700
	その他	5	8	△3	9
	一般財源	35	47	△12	46

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性
【事業の概要】
 グラウンドゴルフのふる里公園の維持管理、運営など全般について指定管理者を定めて運営する。令和7年度から5年間、株式会社チュウブを指定管理者に定めている。
 [指定期間：令和7年度～令和11年度(5年間)]
【事業の必要性】
 町の観光資源の一つであるグラウンド・ゴルフを楽しむことができる場所を提供することで、町の活性化と町民の心身の健全な発達に寄与し、さらに観光振興を促進するために必要である。
【事業費】 指定管理料 13,040千円

2. 根拠法令
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例
 とまりグラウンドゴルフのふる里公園の設置及び管理に関する条例施行規則
 湯梨浜町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連
【第4次総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり (観光の振興)
 SDGs 目標 11 「住み続けられるまちづくりを」

5. 本年度の計画効果
【本年度の計画】
 グラウンドゴルフのふる里公園の管理運営業務を指定管理者制度により実施する。
【事業の効果】
 施設の効用を最大限に発揮し、適切な維持管理並びに経費の縮減を図り、利用者の利便性向上が図られる。
【令和6年度評価】
 公園の施設及び設備の適切な維持管理により、町の活性化と町民の心身の健全な発達に寄与することができた。

6. 財源の説明
【繰入金】 5千円 (ふるさと湯梨浜応援基金繰入金)
【地方債】 13,000千円(過疎対策事業債(充当率100%、交付税措置70%))
【一般財源】 35千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	13,040	13,040	27 繰入金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	13,040	13,040

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
繰入金	18021401001	ふるさと湯梨浜応援基金繰入金	5	8
地方債	21010503004	過疎対策事業債 (グラウンド・	13,000	8,700

【補助金】

補助金等の名称				
補助基本額		補助率		補助金額

【実施計画】

実施計画	部			実施計画計上額
	章			
	節			
	細節			

06款 01項 07目 001000000事業 グラウンドゴルフふる里公園指定管理等経費

歳出予算事業概要書

(単位: 千円)

款	06 商工費	項	01 商工費	目	09 デジタル田園都市国家構想交
事業	大 0002 ゆうゆうゆりはま事業 (簡略番号: 036777)	新規・継続	継続	臨・経	臨時
事業期間	令 7. 4. 1~令 8. 3. 31		事業の種類	未設定	
経費区分	経常的経費		目的区分	商一観光	
補助単独区分					

所属	0101012100-0000	産業振興課 (商工観光)				
区分	本年度当初	前年度当初	比較	前年度現計	前々年度決算	
財源内訳	事業費	20,066	21,733	△1,667	21,733	21,792
	国庫支出金	10,000	10,866	△866	10,866	
	県支出金					
	地方債					
	その他					
一般財源	10,066	10,867	△801	10,867		

【事業概要】

1. 事業の概要と必要性

【事業の概要】
 観光PRとして、町の風土や特産品等を首都圏をはじめ県内外に広く周知し、誘客促進を図るとともに、食に注目した商品開発・ブランディングを行うことで、地域食材の話題性を高め、交流人口の増加及び関係人口の創出を図る。

【事業の必要性】
 町の持続的な発展には、I J Uターン等による人口増や、事業承継などの課題を抱えた地場産業の活性化が不可欠である。湯梨浜町の魅力を全国発信することで、都市圏での認知度向上や関係人口及び移住者の増、食材など製品の販路拡大につなげることができる。

2. 根拠法令

3. 用地の状況

4. 基本計画との関連

【第4次湯梨浜町総合計画】 にぎわいと活力あるまちづくり
【まち・ひと・しごと創生総合戦略事業】 活力ある元気なまち (観光産業の振興) SDGs 目標8「働きがいも 経済成長も」

5. 本年度の計画効果

【本年度の計画】
 首都圏で本町の観光PRを実施するほか、本町の産品を使用して町内飲食店が開発したオリジナルメニューを広くPRし、産品の販路拡大や町内への誘客促進を図る。

【事業の効果】
 町の観光資源に魅力的なストーリーを付加することで地域ブランドのステップアップが図られるとともに、積極的に拡散性が高い情報発信により誘客促進につなげられる。

【令和6年度の評価】
 「料理のまち湯梨浜町」として飲食店によるオリジナルメニューの開発支援と都市部をはじめとしたPRを展開。「食」に焦点をあてた新たな地域ブランドの確立を進めた。あわせて東京都内のレストランで湯梨浜フェアを開催し、食材などの特産品PRを行った。

6. 財源の説明

【国庫支出金】 10,000千円 (新しい地方経済・生活環境創生交付金)
【一般財源】 10,066千円

【事業費内訳】

節	本年度要求	本年度査定	節	本年度要求	本年度査定
01 報酬			16 公有財産購入費		
02 給料			17 備品購入費		
03 職員手当等			18 負担金、補助及び交付金		
04 共済費			19 扶助費		
05 災害補償費			20 貸付金		
06 恩給及び退職年金			21 補償、補填及び賠償金		
07 報償費			22 償還金、利子及び割引料		
08 旅費			23 投資及び出資金		
09 交際費			24 積立金		
10 需用費			25 寄附金		
11 役務費			26 公課費		
12 委託料	20,066	20,066	27 繰出金		
13 使用料及び賃借料			予備費		
14 工事請負費					
15 原材料費			合計	20,066	20,066

【特定財源の内訳】

財源	科目コード	科目名称	本年度当初	前年度当初
国庫支出金	14020101247	デジタル田園都市国家構想交付		10,866
国庫支出金	14020101248	新しい地方経済・生活環境創生	10,000	

【補助金】

補助金等の名称	新しい地方経済・生活環境創生交付金		
補助基本額	18,884	補助率	
		補助金額	9,275

【実施計画】

実施計画	部		実施計画計上額
	章		
	節		
	細節		

06款 01項 09目 000200000事業 ゆうゆうゆりはま事業

【事業名】 ゆうゆうゆりはま事業

【事業概要等】

本町の新たなブランドイメージとして、豊かな自然が生み出す多彩な食材に着目し、これらの食材を使用して町内旅館、飲食店等が開発したオリジナルメニューを動画やマップ、イベント等を通じ、様々な方法で発信する。

完成したメニューは都市圏を中心に情報発信することで、地域食材の話題性を高め、新たな観光客の掘り起こしや関係人口の創出を図るとともに、地元や近隣の住民の誘客も促進し、地域経済の活性化に寄与することを目的とする。

● 広報用ムービー制作

「料理のまち湯梨浜町」プロジェクトをはじめ、これまでの「ゆうゆう、ゆりはま」事業の集大成として、あらためて湯梨浜町の魅力を発信するための映像を制作し、各種イベントや観光PR時に上映するほか、Youtube等インターネット視聴できるよう発信する。

● 写真パネル作成

広報用ムービーと連動して使用するツールとして、湯梨浜町の魅力を視覚的に伝えるための写真パネルを作成する。

● 料理のまち湯梨浜町MAP

これまで開発した第1弾から第4弾までのメニューの全体が掲載された、ハンディなパンフレットを作成し、食べ歩き等に活用してもらうほか、内容は町ホームページ、「ゆうゆうゆりはま」専用サイト等の媒体で県内外へ周知。

● 料理のまち湯梨浜PRイベント

これまで開発したメニューを発表するイベントを企画し、映像や写真パネルなども活用して多面的に広報を行う。

● 世界最多の利用者数を誇るJR新宿駅構内に広報ポスターを掲示し、首都圏へ向けて湯梨浜町の魅力を発信する。

● 町の魅力発信

TV、Webマガジン、Webメディア(Smart news、LINEニュース、Yahooニュース、楽天トラベル等による配信)、SNS(インスタグラム等)により、グルメ、おでかけ、観光、生活情報など町の魅力に関する情報を発信する。